



報 窓 同 工 會

2007

校 歌

嶺は秀づる磐梯山
 水は湛うる猪苗代
 これぞ乾坤香霊の
 精氣鍾り成る処

明治三十七春なかば
 礎堅くきずかれて
 星霜ここに幾かえり
 平和の覇者を育みぬ

身には白虎の粹を享け
 鶴を徽章に雄々しくも
 至誠勤勞一すじに
 進む健児の意気高し

峙つ嶺は嶮しくも
 寄せ来る浪は高くとも
 これ奮闘の活舞台
 これぞ我等の天地なる

作詞 吉田智 山村彌久馬
 作曲 新潟師範学校



『母校の飛翔を期す』

同窓会長 梅津正夫

同窓会員の皆様ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、母校は明治35年に創立が認可されて以来、数々の歴史と伝統を刻みながら発展してまいりました。そして、平成14年に学校創立百周年記念式典が盛大かつ厳粛に行われ、その他の記念事業においても滞りなく、すべての事業を成功のうちに終わることができました。記念事業のメインである同窓会館『鶴翔会館』においては、毎年1500名以上の利用があり各方面より好評を得ております。平成16年10月には記念誌『会工百年史』が発刊され、高額寄付者に対しては感謝の意を込め、贈呈させていただきました。

事業も準備段階より永きに亘りましたが、平成17年5月には収支報告まで全て終了することができました。

また、平成17年3月1日には新制高校の卒業生総数が、記念すべき2万人を突破しました。各地域において今後とも活躍いただける事を祈念いたします。

さらには、2011年には東京工工会が百周年を迎える事となり、記念事業の一環として、平成17年3月に母校へ桜の苗木20本が寄贈され植樹祭が挙行されました。平成18年においては、30年ぶりの『松江賞』復活。中庭にある胸像2体(鈴木善九郎翁・松江春次翁)の修復。会議等開催する時に不自由をしていました『鶴翔会館』の改装工事とテーブルの設置。また4月には本部役員6名が松江春次翁の銅像を訪ねてサイパンへ赴き、サイパン市長やマリアナス高校へ表敬訪問をしてまいりました。更に10月には前同窓会会長・吉田一榮氏の胸像建立除幕式が盛大かつ厳粛のうちに終わりました。

平成19年には、松江賞の授与式、松江奨学会への支援、協力。和太鼓の寄贈等です。これらの事業は後輩の健全育成と資質の向上に利用され、文武両道での活躍に期待しております。在校生の皆さんは、会工健児ぶりを発揮し、同窓生の皆さんに興奮と感動を与えて下さい。

会員名簿出版も事業のひとつであります。昨今、個人情報保護条例法の施行により個人情報情報を公にしない風潮がより強くなった感があります。サト様のご尽力をいただきました。この場をお借りしまして、深く御礼申し上げます。

皆様のさらなるご理解とご協力をお願い致しましてご挨拶とします。

同窓会総会



関・連・記・事



同窓会事業報告(2006.8~2007.10)

▶平成18年

- 8月10日 会報2006発行 協力金の振込み開始(平成19年5月)
- 8月23日 胸像建立実行委員会・小委員会
- 9月4日 坂下会工総会
- 9月22日 サイパン市と会津若松市友好交流締結式に役員7名と学校長出席
- 9月23日 サイパン市長ほか3名来校
- 9月29日 胸像完成・引渡し(原型・若杉儀子先生 南工房)
- 10月6日 福島会工総会
- 10月11日 胸像建立実行委員会・小委員会
- 10月21日 胸像建立除幕式(鶴翔会館前庭)祝賀会
- 10月21日 若松会工総会 本部同窓会総会
- 10月21日 講演 小松山六郎氏
- 10月28日 会工祭に支援協力『鶴翔会館』にて第一回同窓生の美術展開催
- 11月4日 電友会総会
- 11月10日 猪苗代会工総会
- 11月11日 第26回定期演奏会支援協力
- 11月11日 猪苗代会工会長・佐藤 保氏告別式
- 11月11日 湯川会工総会
- 12月15日 最終胸像建立実行委員会

▶平成19年

- 1月24日 会津会工新年会・・・佐伯圭一郎氏来校
- 2月10日 三役・事務局との合同会議
- 2月24日 建友会総会
- 2月27日 故・高橋大輔氏(昭50年建築卒)のご家族より絵葉書・テレホンカードを贈呈される
- 2月28日 母校表彰式に役員多数出席 松江賞の授与式
- 2月28日 同窓会入会式 東京会工より卒業生(初めての建築インテリア科卒業生)へ記念タオルを贈呈
- 3月1日 平成18年度・母校卒業式に役員多数参加
- 3月17日 美修会総会
- 3月25日 平成18年度・職員送別会に役員出席
- 4月3日 体育文化振興会助成
- 4月6日 PTAへ旗2本寄贈
- 4月 平成19年度・職員歓迎会に役員出席
- 4月9日 平成19年度入学式に役員出席
- 4月13日 創立記念講演会
- 4月20日 講演者…昭和22年応用化学科卒 満田政臣氏
- 5月15日 校内同窓会係打合せ
- 本部役員会を『鶴翔会館』にて開催
- かたりべ『松江春次』・講演者…菅野栄子氏

- 5月19日 郡山会工総会
- 6月4日 東海会工総会
- 6月11日 航空写真による校舎全景撮影(ヘリコプターによる)
- 6月15日 松江奨学会理事会に役員出席 松江宏次氏出席
- 6月23日 東京会工総会
- 6月24日 近畿会工総会
- 6月29日 坂下会工より坂下地区の新入生へ記念品贈呈(熊田校長より)
- 6月25日 会津若松市より11月の『松江春次翁を偲ぶ旅』協力要請
- 7月5日 機友会総会
- 7月14日 セラ友会総会
- 7月20日 『和太鼓』を贈呈披露式
- 8月25日 同窓会会報2007発行
- 9月3日 坂下会工総会
- 9月14日 若松会工役員会・本部役員会
- 9月30日 同窓会会員名簿発刊
- 10月13日 本部同窓会総会

会工同窓会総会



会工同窓会



総会 祝賀会・懇親会



乾杯 元校長 渡谷 健氏

懇親会・祝賀会

平成18年10月21日
ホテルいづみやにて



会工、益々元気なり

―校長 熊田良治

全国の会工同窓生の皆様、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。全国の同窓生の皆様方は、母校での青春時代を時折想いだし、「嶺は秀する磐梯山」、「頑張れ頑張れ健男児」、「鶏鳴三度地に鳴きて」と口ずさんでおられるのではないのでしょうか。母校の動静や後輩達の活躍を、新聞やテレビ報道で見聞きする度に、後輩達に熱い声援を送って戴いていることと存じます。本当にありがとうございます。

さて、我が会工の在校生諸君は、有り余る若者のエネルギーを、学業に部活動にまぎ散らしながら青春を謳歌しておりますので、どうぞご安心ください。本校は、明治35年(1902年)に「福島県立工業学校」として開学以来、世紀を超え、一貫して「ものづくり魂」を受け継ぎ、幾多の先輩諸氏が全国で活躍し、本校の名声を高めてきました。現在、創立105年目の会工は、教育目標に「人格の完成、社会性の涵養、真理の探究、工業技術の習熟、健康の保持増進」を掲げ、先輩から受け継いだ「ものづくり」による「へたくり・心づくり」を実践しています。今春は建築インテリア科(K科)が初めて卒業生を出しました。K科の卒業生は全員(実務経験の条件は付きませんが)2級建築士の受験資格をもっています。応援をよろしく願います。現在本校は、文部科学省の「目指せスペシャリスト事業」の研究校(スーパー専門校)の指定3年目になります。研究テーマは「窯変天目茶碗の制作とおしたスペシャリスト育成への挑戦」です。セラミック科を中心に全学科を挙げてこの研究に取り組んできました。研究発表は2008年2月に行います。

更に、本年6月には経済産業省と文部科学省が公募した「平成19年度工業高校実践教育導入事業」に応募し見事に採択されました。この事業名は「会津ものづくり人財育成事業」ものづくりあいづ宣言21」です。隣接校の喜多方工業高校と共同で取り組みます。指定期間は3年間、予算規模は(未確定ですが)年3000万円規模です。事業内容は、「会津地域において、産業団体・教育委員会・自治体のバックアップのもと、地域のものづくり企業と工

業高校の連携・協働を推進し、半導体を中心とした地域のものづくり産業を支える将来の専門的職業人を地域ぐるみで育成し、地域経済の活性化と雇用の促進を図る」取り組みです。このように様々な取り組みをおして、会工生の実力向上と工業高校の魅力向上を図るべく、会工生及び教職員は益々元気です。同窓生の皆様の絶大なご支援、ご協力をお願いいたします。

平成18年度は、前同窓会長・現松江奨学会理事長「吉田一榮」様の胸像が、多数の同窓生の浄財により建立され、在校生の励みになっています。東京会工会100周年記念事業の「桜苗木植樹」も60本を数えました。「満開の会工校」のもとで生徒達が花見する日も近いと思われます。また、平成19年度は5年周期の会工同窓会名簿発刊が進んでいます。若い同窓生が会工同窓会に参加する契機になることを期待します。そして、ありがたいことに、50年前に同窓会から贈られた応援団の和太鼓を新調していただきまし。同窓生のご期待に沿うよう生徒の応援活動を充実させる所存です。

さて、会工の校長として就任4年目です。これまで数多くの会工同窓会に出席し、限らないご支援とご協力を頂戴しました。心より深く感謝申し上げます。来年3月まで残り少ないですが、会工教員として定年を迎えることは私の誇りであり、会工の建学の心である「人格教育」を推進して、会工卒業を誇りにできる生徒を、会工の校歌を声高らかに歌える生徒を、同窓会へ送り出すことが校長としての私の職責であります。最後に、同窓生の声を学校経営に生かすことが、会工の歴史と伝統を守り、会工教育の充実発展に繋がると信じています。皆さんの忌憚のないご意見をお寄せください。会津の地でクラス会を開いた折には、どうぞ母校にお立ち寄りください。多くの同窓生の方々にお会いできることを楽しみにしております。会工談義に花を咲かせましょう。同窓生の皆様のご健勝とご多幸、そして同窓会の益々のご発展を、会津の学舎からお祈り申し上げます。

'07職員人事

お世話になりました。

星 菅野	小泉 香	黒川 孝	吉田 義一	熊田 俊介	長谷川 文	伊能 亮	村上 輝	菊田 則	長沼 悟	渡部 笑	鈴木 慎	小菅 勇	渡邊 修	八巻 勤	相良 晴	池上 邦	西坂 美	沼田 和	五十嵐 靖	若菜 研
賢一	和也	也	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
主任主査	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師	常勤講師
南会津建設事務所	田島高等学校より	福島工業高等学校より	津学鳳高等学校より	郡山養護学校より	坂下高等学校より	平工業高等学校より	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用

よろしく願います。

若菜 靖	五十嵐 研	沼田 和	西坂 美	池上 邦	相良 晴	八巻 勤	渡邊 修	小菅 勇	鈴木 慎	渡部 笑	長沼 悟	菊田 則	村上 輝	伊能 亮	長谷川 文	熊田 俊	吉田 義	黒川 孝	小泉 香	星 菅
教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任	教務主任
南会津建設事務所	田島高等学校より	福島工業高等学校より	津学鳳高等学校より	郡山養護学校より	坂下高等学校より	平工業高等学校より	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用



会津若松市出身の実業家松江春次氏（一八七六一一五四年）の寄付を基に、会津工高の優秀な生徒に贈呈する「松江賞」の授与式が二月二十八日、会津若松市の同校で行われた。各学科の三年生の中から建築インテリア科の白井朝美さんら七人がたたえられた。

受賞者は白井さん、セラミック科の小熊央恭君、化学工学科の柚木利紀君、機械科の佐々木渉君と鈴木祐也君、電気科の密村隆太君、情報技術科の一ノ瀬さちえさん。吉田一榮松江奨学会理事長から賞状、梅津正夫同窓会長から記念品を手渡された。

松江賞は寄付金を原資に戦前から生徒に贈られていたが、昭和五十一年以降は資金が乏しく中断していた。松江氏の功績を後世に伝えようと、同窓会が中心になって昨年に復活させ、今回は二回目の授与。

栄えある「松江賞」受賞!!

7人たたえる

会津工高で松江賞授与式

私は高初から、校入学当初から、専門教科の授業と資格取得に目標を置いて励んでいました。特に資格取得については、同じ研修部の先輩方が励んでいる姿を見ていたので、私も負けずにたくさん試験に挑戦し、ジュニアマイスターを目指そうという意欲が湧いてきました。その結果、ジュニアマイスターゴールの表彰をいただくことができました。

中でも、第二種電気工事士の取り組みでは、毎日仲間どうして教え合いながら、勉強したり配線の練習をしたことは心に残っています。

また旋盤技能士三級の時期には、先生方に必要なものを準備していただいたりと、大変お世話になりました。

そして機械研修部での活動もあり、会工での三年間はとても充実したものでした。

最後に、松江賞を受賞させてくださったのは大変光栄に思いました。歴史ある賞だということを知り、松江氏に関しても知ることができました。社会に出てからも、会津工業の卒業生であることを誇りに、頑張りたいです。

私は高校に入学する時に、部活と勉強の両立「文武両道」が3年間の目標でした。

とくに成績がズバ抜けて良いわけではありませんでしたが、毎日学校に通い、放課後は夜の9時頃まで練習して家に帰るのは10時を過ぎることは珍しくありませんでした。時には頭にボールをぶつけられ泣きながら練習したのを覚えています。その結果、3年時に部長となり地区大会で団体、個人で優勝することができました。

そんな3年間部活に明けくたて来た私がクラスの代表として表彰されたことにまだ実感が湧きません。これから、松江賞を受賞できたという自信を以て、大学へ進学した後も、勉強や部活を一生懸命に頑張っていきたいと思っています。そして将来、仕事に就いたときも、また頑張ります。

自分が「松江賞」を受賞できたことは、とても光栄でうれしく思います。正直自分が「松江賞」を受賞出来たのは、自分の力よりも周りの人達のおかげだと思っています。

昔から集中力が切れやすく、興味の無い事には何時間も真剣に取り組む事が出来ない私は、資格やテストの勉強も途中であきらめてしまう性格でした。しかし、高校に上がり、さまざまな人達と学校生活を送っていくうちに、「今のままではいけない」と感じるようになり、少しずつ自分を変えることに努力しました。

資格取得を初め、学校行事や3年生で生徒会の一員になったときも、友達と一緒に頑張る、時には落ち込みやすい私を励ましてくれました。テスト勉強の時には、私の苦手な教科や、テストに出そうところを優しく教えてくれました。

担任の先生を中心に、学校の先生方も私のために放課後や休みの日を使い、資格取得の講習を聞いてくれたり、実習を付き合ってくれました。担任の先生が作ってくれた毎日の漢字プリントは、とても役に立ちました。

このような友達や先生方がいなければ今の自分はいなかったと思うし、自分なりに自信が持てるようになりました。これからは、みんなが私にしてくれたことを自分がしてあげられるように努力し、「この「松江賞」を励みにして頑張っていきたい」と思います。本当にありがとうございます。

自分が「松江賞」を受賞できたことは、とても光栄でうれしく思います。正直自分が「松江賞」を受賞出来たのは、自分の力よりも周りの人達のおかげだと思っています。

昔から集中力が切れやすく、興味の無い事には何時間も真剣に取り組む事が出来ない私は、資格やテストの勉強も途中であきらめてしまう性格でした。しかし、高校に上がり、さまざまな人達と学校生活を送っていくうちに、「今のままではいけない」と感じるようになり、少しずつ自分を変えることに努力しました。

資格取得を初め、学校行事や3年生で生徒会の一員になったときも、友達と一緒に頑張る、時には落ち込みやすい私を励ましてくれました。テスト勉強の時には、私の苦手な教科や、テストに出そうところを優しく教えてくれました。

担任の先生を中心に、学校の先生方も私のために放課後や休みの日を使い、資格取得の講習を聞いてくれたり、実習を付き合ってくれました。担任の先生が作ってくれた毎日の漢字プリントは、とても役に立ちました。

このような友達や先生方がいなければ今の自分はいなかったと思うし、自分なりに自信が持てるようになりました。これからは、みんなが私にしてくれたことを自分がしてあげられるように努力し、「この「松江賞」を励みにして頑張っていきたい」と思います。本当にありがとうございます。

思い起こせば3年間、もう少し頑張れることがあったんじゃないか、もう少し頑張っていたらいいのかもしれない。毎日の生活の中で、と後悔している。毎日生活の中で、と後悔している。毎日生活の中で、と後悔している。

桐の木で作られた賞状を手に、同窓会の方々と並んで瞬間、胸に誇らしげな気持ちで溢れた。この3年間を絶えず振り返りながら、これからの日々をしつかりと見据えて勉学に励みたいと思った。

私は今年の松江賞の受賞者の一人になりました。人より若干学校生活がよかったただけでありません。でも、決してマイナスイメージのものではないので、これからも自分のペースでやることをやっていこうと思います。

今松江賞を受賞できて、とてもうれしかったです。最初は、どんなものかわかりませんでした。ですが、表彰式でお話を聞いて自分自身が松江賞を受賞できて、三年間やってきたことが認められたんだなと思大変嬉しく思いました。

私が、このような賞を受賞することが出来たのは理由があります。それはライバルがいたからです。結局一度も勝つ事が出来ませんでした。最後の最後にこのような素晴らしい賞を頂くことができたことだし、より生き生きとした生活を送ることが出来たと思います。

最後になりましたが、この賞を頂き、本当に嬉しく思います。このことを胸に、これからの社会生活の中で励みにし、新たな目標に向かって日々努力し続けていきたいと思います。



平成18年9月29日 胸像完成引渡し



サイパン市と会津若松市友好交流締結式 平成18年9月



サイパン市長ほか2名 来校



新年会時 佐伯圭一郎氏 来校



PTAの旗 2枚贈呈



松江春次氏の語りべ 菅野栄子様 (平成19年5月)



同窓会館 初めて一般開放



和太鼓贈呈式 平成19年7月 福島民報掲載

平成19年度本部同窓会総会のご案内

日時：平成19年10月13日（土）
午後4時（午後6時より懇親会）
◎講演会（総会終了後）
演題「殖産興業からみた会工の創立当時」
講演者 小関 栄助氏
場所：ホテル「いづみや」
市内南千石町 TEL 0242-27-5538

若松会工主催一エキスカーション 親善・交流ゴルフ大会のご案内

日時：平成19年10月14日（日）
この度、会員の皆様との親善・交流のため、第2回ゴルフ大会を開催することになりました。
総会の次の日ですが、地元会津はもとより、東京、近畿、東海と県内外から総会へご出席される会員から多くのエントリーをお願い申し上げます。
お問合せ先：ゴルフ大会幹事 小山 源昭 TEL 0241-48-1512
同窓会幹事長 若狭 春生 TEL 0242-26-3246

同窓会より

今年度の同窓会の活動は、なんと！

つて吉前同窓会会長 田一榮氏の胸像建立に關わる事業です。この事業は総予算300万円を会員の方389名からの寄付によってまかなわれた事です。10月21日（土）には除幕式も盛大にとりおこなわれ、祝賀会も同日におこなわれました。吉田一榮氏の人柄があらわれた事業です。

そのほかの事業では、3年に一度の会工祭に対する支援協力でした。それは同窓生の美術展を開催できた事です。今回の企画は「鶴翔会館」内で行なわれ、同時に収蔵されている美術・工芸品や貴重な資料も一般公開されました。一昨年度、30年ぶりに復活した松江賞は今年度も各クラス1名の計7名に2月28日にとり行われました。

同窓生として

H19年3月F科卒 鈴木 勇馬

この度、会工同窓会入会にあたり、同窓会の諸先輩方には厚い御礼と御支援を

お願い申し上げます。

私達は会工を卒業し同窓会に入会させていただきましたが、その活動内容を具体的に知りません。在校生の学校生活に役立つ活動を、本当に私達が行っているのか。不安は多くあります。しかし、卒業後も会工に携われることを嬉しく思っているのです。少しでも機会があれば、会工の発展の為に力を入れていきたいと思っています。

最後に同窓会の一員となったことを自覚し、母校の為に何かしらの力になるよう精一杯努力してまいります。

胸像建立
寄付者名簿
(敬称略)

吉田一榮翁

彰碑工事者
店
伸夫様

台座・顕彰碑工事者
石澤石材店
岩澤伸夫様

原型制作者
若杉儀子様

[illegible]

安西	星	小	渡	高	手	斎	佐	熊	菊	冠	片
一	芳	閔	羽	木	代	藤	藤	田	地	木	桐
秀	雄	榮	芳	利	志	機	松	良	壽	善	進
		助	滿	夫	男	友	会	治	雄	之	一

儀子会津郡望会会長に感謝状を贈呈した。小森

吹奏楽部による演奏をたたえ、同窓会が建立した。

除幕式には約百人が出席した。梅津圭夫同窓会長のあいさちに続き、吉田さんら関係者が除幕した。原型を製作した若杉儀子会津彫聖会会長らに感謝状を贈呈した。小森

職員：代表古川 教員 15 31 26 20 33 50 49 15 25
M C K K L K K K G C K

吹奏楽部による演奏

▲箏曲同好会による演奏

旧職員 代表 田中儀一	旧職員 元校長 渡合健	旧職員 元校長 田代喜雄	旧職員 元校長 押山登雄	旧職員 元校長 佐々木昌人	旧職員 元校長 二瓶祐子	旧職員 元校長 佐藤博	旧職員 元校長 久ノ瀬泰夫	旧職員 元校長 西川克士	旧職員 元校長 大沢清次	旧職員 元校長 渡辺真一	旧職員 元校長 森田正夫	旧職員 元校長 野口誠志	旧職員 元校長 富田真司	旧職員 元校長 木村盛夫	旧職員 元校長 菊地昭司	旧職員 元校長 五十嵐祥介	旧職員 元校長 本吉キ子	旧職員 元校長 福島秀昭	旧職員 元校長 猪俣邦男	旧職員 元校長 鈴木弘	旧職員 元校長 馬場弘	旧職員 元校長 猪苗代会工彦	旧職員 元校長 島田貞彦	旧職員 元校長 芳原勝義	旧職員 元校長 渡部康博	旧職員 元校長 中山芳雄	旧職員 元校長 宗像壽一	旧職員 元校長 渡部精	旧職員 元校長 伊藤正隆	旧職員 元校長 佐々木和郎	旧職員 元校長 太田正雄	旧職員 元校長 常法寺直夫	旧職員 元校長 八巻正孝	旧職員 元校長 長谷川久雄	旧職員 元校長 佐藤卓正	旧職員 元校長 水沼卓二	旧職員 元校長 内藤平造	旧職員 元校長 根本平	旧職員 元校長 佐藤実	旧職員 元校長 鈴木慶治	旧職員 元校長 高橋昭男	旧職員 元校長 真田徳朗	旧職員 元校長 真田郁郎	旧職員 元校長 榎本紘	旧職員 元校長 伊藤幸博	旧職員 元校長 佐藤隆雄	旧職員 元校長 大堀幸夫	旧職員 元校長 江川隆雄	旧職員 元校長 渡邊秀雄	旧職員 元校長 村田光夫
-------------------	-------------------	--------------------	--------------------	---------------------	--------------------	-------------------	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	-------------------	----------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------------	---------------------	--------------------	---------------------	--------------------	---------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

収入の部 (単位：円)

支出の部		(単位：円)	
費 目	支 出 額	摘 要	
胸 像 制 作 費	2,529,965	胸像製作代	1,760,000円
使用料及び賃借料	7,600	銅像台座代	769,965円
消 耗 品 費	2,529,965	タクシー代	7,600円
		賞状、名札代	24,490円
		印鑑代	3,500円
		紅白餅代	40,000円
		看板代	30,000円
		除式記念写真代	17,500円
		インク、用紙代	8,925円
		除幕式式次第、封筒印刷代	153,080円
委 託 費	150,000	除幕式イベント委託代	
懇 談 会 費	209,350	祝賀会、実行委員会補助	
手数料、通信費	70,300	資料、礼状等送札医	
計	3,224,740		

いただいた方

平野 善勝	山口 栄一	石田 功	富樫 実
坂垣 正宏	坂井 健	中島 正規	東海堂アト工芸
陽だまりの会	スバイス企画	若杉 儀子	南工 房
岩澤 石材店			

若松会工会 若松会工会の 近況について

会長 手代木利夫
(昭28 A卒)

私が会工高会津若松会の会長として一期(二年)を経過しようとしております。力不足のため会員に迷惑をかけておりますが自分なりに一生懸命努力して運営にあたっております。その間特に副会長若狭氏、幹事長小山氏、事務局長真田先生に協力を仰ぎ会を進めてまいりました。今回は五月四日に鶴松会館において第二回役員会を開催しました。

議題

- 一、総会の日程について
- 二、活動方針について
- 三、協賛金について
- 四、役員改選について
- 五、その他

- (一) 総会日は十月十三日の十六時より(本部同窓会の日程に合わせて開催をする)
- (二) 親善ゴルフは十月十四日に実施、場所時間は未定
- (三) 協賛金は総会時に参加者より年間壹千円を協賛してありますが、今後は協賛金を集金しない。(本部より補助金で運営する)
- (四) 役員は今後市内各支部をなくし同窓会に準ずる。



東京会工会 同窓会運営に思う

副幹事長 田中健一
(昭42 E卒)



そんな事から東京会工会では六年前に関東圏の三千余名に同窓会情報を発送し、今は関心のある方にのみ案内を発送している。経費節減にも繋がった。六年前三百人であった登録者も今は五百人までに増えた。しかし、昭和四十年以降の卒業生が少ない。登録者増へ向けた課題だ。

親睦の機会を増やすため、総会の他に地引網、梨狩、芋煮会、ゴルフ等の催しにも力を入れている。新たな参加者もわずかではあるが

近畿会工会 近畿会工会の 活性化に向けて

会長 渡部 藤雄
(昭31 E卒)

近畿会工会では、去る一月二十一日に恒例の新年会を、大阪曾根崎町の割烹「八幸」で開催しました。参加者は、年々少なくなり今年は十人を割るのではないかと心配していたが、どうにか十二人の方のご出席を頂き、例年のように賑やかで楽しい新年会となりました。復雑な気持ちでした。

名を超えるのですが、現在会員として年会費を納入されている方は三十四名、その内総会や新年会に出席される方は、十七、八名という状況なのです。

- ① 近畿会工会をどの様に改めれば入会して頂けますか。
- ② 提案頂いた改善案が直ぐに実行できると約束は出来ませんが、取敢えず活動に参加されて一緒に改革にご協力頂けませんか。
- ③ 近畿会工会についてご理解を頂くために、会則や総会資料などをお届けしても構いませんか。
- ④ 二、全ての皆さんに
- ⑤ 新規会員を増やす方法として、思いつくことがありましたら教えて下さい。
- ⑥ 近畿圏内に在住する同窓生を会員として勧誘する、うまい方法がありましたら、教えて下さい。
- ⑦ 総会や新年会などの参加者を増やす、うまい方法がありましたら教えて下さい。
- ⑧ 近畿会工会を魅力あるものにするために、どんなことをすればよいでしょうか。思いつくことがありましたら教えて下さい。
- ⑨ 毎年一月に新年会を開催しておりますが、何か改善する点がありましたら教えてください。
- ⑩ 竹生島、彦根、有馬温泉などの親睦旅行を実施しましたが、大変少ない参加者でした。参加者を増やすための改善点がありましたら教えてください。
- ⑪ 近畿会工会の活動についてどんなことでも結構です。ご意見をお聞かせ下さい。

アンケートの内容は、以上のような設問でしたが、結果は

- ・ 発送総数 一〇六通
- ・ 回答数 八通
- ・ 戻り数 三七通
- ・ 音信なし 六一通

という状況で、回答された方は、全て会員の方でした。少なくとも30%位の回答率を期待していたのですが、非常に残念な結果でした。



東海会工会 近況報告

会長 星 芳雄
(昭36 E卒)

1. ゴルフコンペ
H18年11月9日。会場…岐阜県可児市セラヴィゴルフ倶楽部参加者6名。優勝笠間忠英様(昭35 A卒)。快晴の中、うつ憤を晴らす如く豪快なショットで英気を養い普段の運動不足を補った。今年も同会場で行う実施予定。
2. 役員会一泊旅行
H19年3月3日。総会の計画作成のため役員一泊旅行。会場…浜名湖館山寺温泉。参加者9名。



平成19年6月 総会

文武両道

REPORT & MESSAGE

郡山会工会

事務局長 菊井徹哉
(昭58D卒)

私は昭和58年にかつての電子科を卒業した後、進路を一転し歯学に進んだ結果、現在歯科医師として奥羽大学歯学部で勤務しています。郡山会工会なる存在を知ったのは平成9年だったかと思われ、当時津工業高校創立100周年記念事業などのことが話題になっていました。郡山会工会の案内状を頂いてから毎年開かれる定期総会に出席していますが、出席されている方々はかなり年代に隔たりがあるため、昔話を聞いていて感があります。郡山会工会としては、会の組織を次の世代に引き渡したい、との意向が



あるようで、3年ぐらい前からボーリング大会を催していますが、郡山に在住する会工同窓生の若い世代の出席は伸び悩んでいます。同じ頃から郡山会工会の事務局の仕事もさせてもらっていますが、一人だけ離れた職種にいるため同窓生の動きについて全く見当がつかず、郡山会工会の世代交代については手詰まり状態です。

郡山会工会としては最近「ボーリング大会」などを催して新しい世代の参加を促していますが参加数は伸び悩んでいます。現役世代は現在の執行部が考えているほど「暇ではない」と言えるかもしれません。同窓会の最近の傾向として言えることは同じ学校を卒業しても、友人関係は長続きしますが、とくに利害関係のない同窓会への関心は年々減退する傾向があり、大学同窓会でも新規入会者の減少や会費未納が見られます。つまり、学校は一種の「自己実現の道具」であり、ある種の資格や実力がつけば後は無関係にしたいという方々も多くなっているように思えます。次第に同窓会の活動費にも影響するようになり、「機関紙の発行・配布をどうするか」などの議論に発展していきいます。高度情報化社会になって同窓の力を頼らなくても、自分に必要な情報は入手できるようになったためであるとも考えられます。

鶴雲飛翔

福島会工会

幹事長 神田信之
(昭31M卒)

昨年10月6日、定例の総会を福島市内のホテルにて行い、親睦を深めました。

当日はあいにくの悪天候で豪雨でしたが、本部から手代木副会長はじめ3名の役員の方々にご出席頂き、本部からの情報等について詳しくご説明頂きました。

出席予定だった熊田校長先生が急用でご出席できなくなり、「福島会工会」に寄せてのメッセージを頂き感謝を受けました。

その内容は「松江賞」の復活により生徒達に「会津人の誇りと使命感」を与えたこと、また創立104年の歴史と伝統を誇る中で「人格の完成、社会性の涵養、心理の探究、工業技術の習熟、健康の保持増進」を教育目標に日々努力している旨、「ものづくり魂」で社会に貢献できる人材の育成など工業高校として果たすべき重要なテーマを持ち、教育に当たられている現状が述べられており、教育現場における懸命な取り組みが伺い知ることが出来ました。

総会への出席者は20名でしたが、内1名はたまたま短期的に福島市在住中の高橋雄次(38M)で機友会名簿から判明し、案内したところ出席してくれました。



平成18年10月 定例総会

坂下会工会

幹事長 猪保勇一
(昭43G卒)

以前から会高、若商とは総会時に相互に呼び呼ばれし友好促進を計っている。

最近では三校に加えて地元の会農、坂高を含めた五校対抗ゴルフ

猪苗代会工会

監査 猪股和雄
(昭39M卒)

私は縁あって5年前、茨城県日立市より猪苗代地区へ移住して参りました。

猪苗代会工会へ入会させて頂き総会にも3年連続出席させて頂きました。

卒業は昭和三十九年三月でした。三百二十四名が母校の門を後にしたのである。あれから約四十数年、それぞれの人生を送ったことと思います。

尚、この年は東京オリンピックク



坂下地区 新入生へ記念品贈呈 (母校の校長室にて)

REPORT & MESSAGE

西会津会工会

会長 鈴木 仁
(昭21M卒)

昨年の総会は実施できなかつたので今年度は是非開催したいと思っています。



西会津会工会 結成時
(写真提供: 細木啓馬 昭20M)



最近の総会のようす

建友会

副会長 山岸 清
(昭41A卒)

今年も、恒例の建友会総会ならびに懇親会を開催することが出来ました。

これまでは二月の最終土曜日に開催することになっており、今年は、二月二十四日(土)の開催となりました。

昨年は、市内ワシントンホテルに於いて開催いたしました。これまでも、東山温泉がよいと、会員の声もあり、東山グラントホテルに於いて開催することにな



先輩が築き上げたこの建友会を継続、発展してゆくには若い世代の会員が大いに参加していただかねばなりません。是非とも企画、運営の

の開催、東海道新幹線営業運転開始等で日本経済の勢いはサードよりトップに切り替え、アクセルを強く踏み込む時期であったように思われる。

やがて迫り来るバブル崩壊、長期にわたる景気低迷この時期、誰が予測したであろうか、入社時は一人前の技術者になりたい、とそれなりに頑張ったように自負しているが、特に大きな実績を挙げたわけでもなく、結果的には与えられた責務を必死に消化した一社員であつたと思う。

異常なる高度経済成長や低迷、そしてバブル崩壊を体験し生き抜いた者として、あれは一体なんだったのか、還暦を過ぎた数年であるが、ふと考えると答えはでてこない。ただし、常に図面と書類にあふれ、毎日、毎月必死に生きてきたことは確かである。

このような体験は私一人に限ったことではなく、同年代や諸先輩も同じだと思えます。



湯川会工会

副会長 佐野常雄
(昭31E卒)

誇りに思つても良いと思います。

この体験をアドバイスすることにより、次世代の後輩諸君に役立つことがあれば、などと考える今日この頃です。

年一度の総会時に全生に、校歌や応援歌を合唱し、青春時代に返るのも楽しいひとときでした。自分を育ててくれた日立を思い出し、これからは猪苗代会工会に微力ながらも協力して行き、地域社会の一員として過ごしたいと思ひます。



昨年の総会は11月11日に開催されましたが、当日都合により参加できなかつた事により数名の出席になりました。今後は日程を調整しながら開催したいと思ひます。

電友会

会長 山口 健
(昭29E卒)

第12回総会は、平成18年11月4日、ホテル・ニューパレスにおいて、会員35名の出席のもと、年度事業、会計報告、次年度計画、役員の改選等を審議、承認されました。

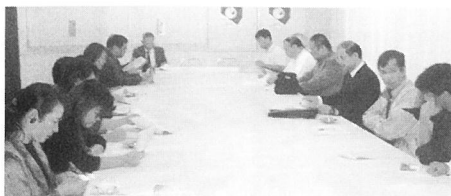
同窓一万五千

段階から参加していただき更に素晴らしい建友会にしていきたいと思います。



美修会

会長 白井 充
(昭42L卒)



美修会は3月17日平成18年度の総会を開催し、事業報告・会計報告の後、役員改選に入り新役員を次のとおり改選いたしました。

会長 白井 充 (昭42)
副会長 儀同哲夫 (昭42)
幹事長 曾根智子 (昭46)
幹事長 風間真一 (昭45)
岩瀬浩之 (昭54)
その後、懇親

機友会

幹事長 菊地登貴雄
(昭52M卒)



定期総会は7月5日に割烹「米熊」にて開催し、事業報告、会計報告の後、今年度の事業、予算について審議され承認されました。また今回は役員改選の年度であり、

セラ友会

事務局 梨子本 傑
(昭41K卒)



会津工業の窯業科、セラミック科の卒業生らでつくる「セラ友会」(坂場恒雄会長)は14日会津若松市内のホテルいづみで総会を開き、本年度事業などを決めた。

至誠勤労

三菱伸銅鶴友会

会長 木津光右
(昭49E卒)

会津工業高等学校同窓会の皆様には、日頃より大変お世話になっております。最近の三菱伸銅株式会社会社 若松製作所の鶴友会活動状況についてご報告します。本会は会員の親睦を最優先に活動しております。新入社員歓迎会や2年おきの旅行を企画し、北海道や大阪等、数多くの参加者を得て行っております。今年は2年に一度の旅行の年であり、役員一同、日程スケジュールの検討に追われております。現在会員は135名です。今年も会工卒の新入社員が3名入社しました。本日4月2日午前中の入社式は若松製作所で行なわれ、西田社長始め、部門長クラスが出席される中、式は厳粛に行なわれました。昨年新入社員を迎える歓迎の挨拶、今年入社した小檜山雄君(H18年度M卒)が新入社員を代表しての挨拶。

これら当社を引っ張って行く両名の立派な挨拶でした。時々母校の後輩たちが工場見学に訪れていますが、大いに当社を見学していただき、益々多くの後輩たちが入社されることを期待しております。



北芝会工工会

職域OB

昨年5月29日二本松市岳温泉にて第1回の職域(北芝電機)同窓会OBの集いを開催し、退職後の面々を久しぶりに確認しあいました。現在、当職域(北芝会工工会)には20名の会員がありますが、OBが現役の数より多くなり、星 武(27E福島会工会長)さんはじめ13人となりました。

退職後は日ごろ顔を合わす機会が少なくなり、職域OB同窓会の現況を知りたいとの要望から開催しましたが、当日の集いには11名の参加がありました。

REPORT&MESSAGE

母校職員鶴友会

幹事 玉川 誠
(昭47M卒)



母校職員で組織している鶴友会は昭和40年代より結成され、毎年、歓迎会を開催し交流、親睦をはかっています。一時は40名以上の会員のときもありましたが、最近では年々減少傾向にあり今年度は13名です。

OB会

会工野球部に20万円OB会が

激励金を贈る

今後、当会は同窓会本部からの情報の伝達と会員相互の親睦を深める事を目的に、年1回開催することを約束し、楽しいひと時を終えました。

夏の高校野球県大会のために、会津工業高校野球部OB会(室井勝己会長)は九日、会津若松市の同校野球部に奨励金二十万円を贈った。

激励金は、OB会が有志から募り、毎年野球部に贈っている。室井会長、丑木孝吉幹事長が同校を訪れ、野球部の八巻監督に寄付金を手渡した。熊田良治校長、五十嵐研教頭が立ち会った。室井会長は「一戦一戦に全力を尽くしてほしい」と激励の言葉を述べた。

激励金は、部のボール代や移動バスの整備費などに使われる。



▲八巻監督(左から2番目)に激励金を贈る(右から)丑木幹事長、室井会長(福島民友掲載)

先輩330人の名札 涙と汗の道場に

会津工業高柔道部

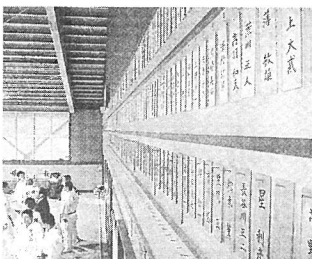
「OB会」が贈呈 記録調べ掲げる

明治後期から 昭和48年卒まで

会津工業高柔道部の道場にこのほど、明治後期から昭和四十八年卒の部員三百三十人の名札が掲示された。道場には昭和四十九年以降、部員の名札を掲げるようになったが、それ以前の名簿はなく、OB会が大会の記録や学校史から名前を調べ出し、名札を作って多くの仲間が汗と涙を流した道場の壁に並べ、道場で学校への贈呈式が行われた。



名札の前で記念写真に納まるOBと現部員



(福島民報掲載) 近年の部員の名札と少し色が違う昭和48年卒までの部員の名札

サッカー部にユニホーム

ユニホーム購入費 32万円寄付 「ぜひ全国大会に」



会津工業高サッカー部OB会は十九日、会津若松市の同校サッカー部にユニホームを寄贈した。同日、関係者が同校を訪れ「ぜひ、このユニホームを着て全国大会に進んでほしい」と期待を込めた。

OB会では会津若松市で毎年夏に集会を開いており、その際、出席者から寄せられた寄付金などを遠征費などとして寄贈し現役を支援していたユニホームを新調することになった。

ユニホームはブルーの縦のラインが鮮やかな長袖、半袖とパンツをそれぞれ二十三人分。

贈呈式は同校で行われ、渡辺清美教頭と部顧問の鈴木教諭も同席し、OB会の協力に感謝した。同OB会の飯塚裕さん、中島和一さんが「全国大会に出場してほしい」と部員を激励し、目録を渡した。山田寿典主将らは「全国へ行けるよういい成績を残せるよう頑張ります」とあいさつした。

(福島民友掲載)

一意専心

威風堂々

写真は語る

荒明正義
(昭30E卒)

平成十七年度の電友会総会終了後、同級生の稲葉秀雄君が自分の子孫のために作ったという、小・中学校時代の同級生たちとの還暦、古希祝いの写真集を拝見することができた。

それは写真のなかの人のしぐさが言葉となって、漫画の吹き出しのように余白に書かれていた。ページをめくるたびに写真の中の人達の会話が耳に飛び込んでくるようだ。

古希を迎えた同級生にこの話を話したら、在学中や同級会での写真



稲葉：見たらわかるよ。それに書いてなかったっけ？
荒明：そうだ、そうだ。これだ、思い出した。
史郎：なんで、こんなとこまで来て、予算をみてんのかな！

クラス会

鶴 応 会

満田政巨
(昭22C卒)

私の会工の学生時代は戦中で、学徒動員で軍需工場に行ったり、農場に行ったり、勉学より別な経験させられた。その様な苦しみと同級生は思い出があり、鶴応会という同窓会が七十七歳の喜寿まで続けられている。

人間は楽しかった事より、苦しかったことが思い出として残り、懐かしと思う。

老人となり同窓の仲間が病気になるが、今生きていることの素晴らしさに感謝している。

同級生の仲間が世界大戦の敗戦



グラウンドに黒土を運ぶ部員や保護者ら
(福島民友 H19.5掲載)

古稀記念祝賀

同級会と絆

小滝 力
(昭31A卒)

同級会を開きました。毛なし、歯なし、知力なし、有り余る時間と血糖値だけの百戦錬磨の古武士が集まりました。古稀とは、昔70歳まで生きるのがむずかしい時代にお祝いをしたのが由来です。高齢化社会では、古稀は決して小僧ですか？

我々会津を巣立つてから半世紀、其々が各地で活躍、名を成し功を遂げられたのも、会津工業高等学校と云う共通の土俵が「絆」と成っているが校友会であり、同級生の繋がりが、先輩後輩の繋がりであったと想う。

昭和31年建築科卒業生は、昨秋「古稀記念祝賀同級会」を柳津で開催、併せて記念誌を発行しました。卒業生42名、逝った方7名、幹事の努力不足が7名、病も多く23名の参加でした。現在あるのは影で支えた家内が居ればこそと、感謝を込めた「家内同伴の謝恩会」と銘打ち行いました。同窓会梅津会長とはバレーボールの絆で気安

会津工高野球部に黒土

若松・保護者OB会が寄贈

会津工高野球部保護者OB会(鈴木久一会長)は五日、会津若松市の同校野球部にグラウンド用の黒土を約十ト寄贈した。

同OB会が毎年行っている貢献活動で、これまで野球用具を贈ってきた。

今回は、グラウンドの環境を整備しようと、野球部の要望を受けて、黒土を寄贈した。

二トトラックで五台分の黒土をグラウンドに搬入。部員や保護者らが協力しながら、いままでのグラウンドの土を入れ替えた。鈴木会長は「悲願の甲子園出場を果たしてほしい」とエール。また、八巻監督は「不規則なボールバウンドで練習に困っていたが、これからは思いきり練習ができる。本当に助かります」と感謝の言葉を述べた。



REPORT & MESSAGE

M30クラス会

折笠瑞寿
(昭30M卒)

真が沢山集まりB四版、六十四頁の立派な「写真は語る」のアルバムが完成した。

アルバムを手にした同級生から感謝の言葉が沢山寄せられ、私としては友が遠くにあっても、会工三十年電気科卒の同級生達の強さに、しばし感涙した次第である。



楽しい時を過ごし、やがて時間の立つのが早すぎるのを感じながら、来年も逢える事を誓い合っています！

還暦を祝う

クラス会

窯業科 遠藤政利
(昭41K卒)

還暦祝いを兼ね、三年ぶりにクラス会を会津若松市で開きました。遠く静岡からも含め十三人が参加しました。母校近くの八角神社でおはらいを受けたあと、御菜園近くのホテルいづみで懇親会を開きました。卒業以来初めて顔を合わせる仲間もいて、宴会は三回まで延長して大いに盛り上がりました。

翌日は先年、亡くなった恩師、千葉博先生の喜多方の自宅を訪ね、花と記念品を届けました。



M41クラス会

栗城和夫
(昭41M卒)

平成19年7月7・8日に東山温泉「ホテル千代瀧」にて開催。地元のほか新潟、埼玉、東京より十名の参加でした。



思い出の写真①

細木啓馬
(昭20M卒)

日立製作所 会津工業学校内での記念写真です。向かって左の白いズボンの方とその後ろのヒゲの方は教官です。

向かって右の2名は助手です。あとの生徒は全員同級生達です。鶴ヶ城の満開の桜のしたで昭和20年4月卒業の同級生たちです。この写真を見て、懐かしく思っています。



昭和19年4月鶴ヶ城内の満開の桜の下で

思い出の写真②

江川一正
(昭26E卒) 提供



吉田一栄氏全国同窓会会長就任祝賀会



会津会工会坂下支部総会 夕食会 (S55.8.22)

一生懸命

夢の甲子園へ
向けて

〜会工野球部のあゆみ〜
会工野球部監督
大塚久泰

現在の高校野球大会は夏の選手権大会（大正4年に第1回大会）、春季大会（秋季大会（ともに昭和24年に第1回大会）が中心となつて開催されているが、100年を越える本校創設以来の会工野球部の主要活躍を回顧してみたいと思う。本校の野球部創立は大正9年とされている。

創設当時の様子を当時の会工誌には『運動部は、以前から校友会の一部に存在してはいたが、只野球部チームの設けがなかった。此處に於いて我が校二百の健児の真の叫びは、遂に茫然としてその姿を校内に現すに至つた。』（福工誌第5号）と記されている。これが大正9年のことであり、中等学校野球大会（夏の選手権大会の前身）に初出場するのは大正15年のことであつた。

昭和初期の活動を観てみると、初出場の年は強敵福島商業に15対0で敗れ、昭和2年には福島師範にいま一步のところで敗れ、昭和3年には田村中学に敗れた。しかし、昭和5年には全国中等学校野球東北予選に初出場し、1回戦で黒沢尻中学を一蹴し、2回戦において強豪盛岡商業と対戦し悪戦苦闘も遂に効なく敗退したとある。

昭和6年には安積中学、8年には石川中、9年には平商業、10年には相馬中学と、来る年も、来る年も何れも借敗に退き、そして、翌昭和11年から20年までは大会不参加、さらに第二次大戦により大会中止という会工野球部にとつては正に暗黒時代を迎えるのであつた。この当時の状況を大先輩の種部久吉氏は『思えば我が野球部は真に忍従の生涯であつた。その他の悪条件のもとにも係らず、不撓不屈絶えざる努力は、相当の實力を有するまで漕ぎつけながら、遂にいま一步という所で勝利の神は我に味方せず、遂に我が世の春を謳歌するには至らなかつた。』と回想録に記している。

昭和23年の学制改革時に、今までの中等学校野球大会が高等学校野球大会に改称になり（創立は21年、戦後甲子園大会が復興された、我が会工は創立初年より加盟、参加した。福島県全部の加盟数は16チームであつた。

昭和21年より今年度まで58年間の本校野球部の歩み、活躍ぶりを観てみると夏に強い会工というイメージをもつことが出来る。甲子園出場という快挙は未だ成してないが、県大会での勝率は6割に達し、これは会津地区内では群を抜いており（例えば、会津高校5割4分、若商4割9分、県内でも十指に入る勝率である。以下、それまでの戦跡を記して

年度	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準々決勝	準決勝	決勝
21	安積中13：4						
22	保原中0：11	平工 3：5			安達中 4：10	福島商 6：4	
23	相馬農 2：9	福島商 4：3					
24		田村 12：4					
25		磐城 6：1					
26		学石 3：14	信夫 0：10		内郷 3：1		
27	須賀川 0：1	学福工 9：1					
28	東白農 0：17	双葉 4：0					
29	原町 2：6	田村 2：4	四倉 4：6		小名浜 2：3	郡山商 6：0	
30	東白農 4：10	信夫 2：4	四倉 0：4		福島商 3：2		
31		保原 1：0					
32		梁川 0：8	磐城 2：1				
33		県福工 1：2	勿来 0：1		川俣 4：1		
34		安達 0：10	原町 1：10		福島商10：0		
35	平工 1：0						
36	福島農 3：5						
37	安達 3：7	須賀川 0：1	川俣 1：2		保原 5：0		
38	双葉 1：2	東北工 3：4	東白農 3：6		福島商 7：2		
39	平工 4：2						
40	川俣 3：1						
41	地区予選で敗退						
42		安積 5：4					
43	白農工 0：2	小名浜 0：2	本宮 1：3		福島商 1：0		
44		平工 6：3					
45	須賀川 6：2						
46	学石 8：0						
47	郡西工 0：2	内郷 1：3	保原 6：2				
48	小高工 8：0						
49	湯本 2：1						
50		郡工 2：0					
51	安積 6：1						
52	縞工 1：5	福島 12：2					
53		原町 1：8	棚倉 1：8	小野 1：2	白河 4：1		
54		福島工 1：10	矢吹 1：4	好間 0：8	福島商 8：0		
55		岩瀬農 2：5	川俣 2：13	双葉 1：0			
56		小名浜 2：5	福島 4：1				
57		福農蚕 2：4	東白農商 2：6	安積商 5：2			
58		田村 8：11	湯本 4：1				
59		内郷 0：4	双葉 10：1				
60		磐城二 0：7	学石 5：3				
61	磐城 1：2	学福島 4：7	須賀川12：0				
62	磐城 4：1						
63	縞工 0：7	福農蚕 1：9	日東北 9：7				
平成1		郡山商 1：7	聖光 9：3				



平成18年度
夏の大会 準決勝 駒形投手
（福島民友掲載）

乾坤秀靈

以上のように戦後の大会復興から現在までの戦跡を観てみると、ベスト8に12回、ベスト4に4回勝ち上がる成績を残し、昭和40年代（この年代は私学の台頭がはじまる時期）には初戦敗退が幾度あったが、ほとんど常時3回戦以上の進出を為し遂げており、特にここ9年間で2度のベスト4入り（平成10年、平成12年）を果たしている。

甲子園に出場するためには、過去10年間に2、3度のベスト8、あるいはベスト4進出を経験して初めて甲子園の切符を手に入れることができるという過去に例を鑑みるならば、選手分散化が進むなか、本校にとって初の甲子園出場が見え隠れしてきたような気がする。

次に昭和24年に同時に設立された春季大会、秋季大会であるが、いずれも本年度で58回を迎え、地区予選での本校の優勝回数も春季大会17回（会高12回、若商11回）、秋季大会14回（会高16回、若商7回）の優勝を成し遂げている。県大会の成績は以下の通りである。

		ベスト8	ベスト4	決勝
春季県大会	28回（会高24回、若商21回）	3回	4回	1回（準優勝）
秋季県大会	25回（会高22回、若商18回）	4回	3回	4回（優勝2回）

また、個人記録として、本校野球部OBである荒川厳氏（S36年度卒）がうちたてた完全試合についてふれてみた。

福島県高校野球史上、完全試合はこの一つだけであり、特筆される記録である。昭和34年秋季会津地区予選で、対戦校は耶麻野沢高校（現西会津高校）を相手に達成された。しかも、27アウトの内26を三振で奪ったのである、もちろん一試合26脱三振は福島県の記録であり、ギネスブックにも記載されているが、おそらく今後の福島県、いや、全国の野球史上破られることなど驚愕に値する記録であろう。

さて、本年度の会工の夏の選手権大会の戦いぶりであるが、本校は県内屈指の好投手である駒形投手を擁するまじまりのあるチームであつた。

第8シードにもなり充分甲子園を狙える位置にいたが、第1シードの日大東北高校と準々決勝で対戦し、「リードされても前・中盤を2点以内でつけていければ勝算はこちらにもある」と終盤に勝負を賭けるゲーム・プランで臨み、思惑通り最後までつる好試合が展開された。試合終盤に4―3と逆転し、最終回2

アウト、ランナー無しまで追い込んだが、しかし、その後3連打を許し、4―5でのサヨナラ負けを喫したのであつた。悔やまれたのは2アウトまで7球で打ち取つ後、3人目の打者に投じた第1球目であつた。左打者のインコース

に投じられたが、やはりボールの判定。同じボールに違ふ判定は下せないのは当然であるが、試合後ネット裏の公式記録員は「どちらもストライクでしたよ」との話であつた。敗戦の言い訳として、イフは許されなないと思います。が、もし2ストライクに追い込んでいれば違った結果でゲームセットを迎えたに違いないと今でも確信を持っております。

あの一球で勝敗が左右される…。一球の怖さを、今まで何百試合を戦つてきて何試合か経験しましたが、正直この試合ほど身にしみて感じた事はありませんでした。本当に痛恨の一球でした。

高校野球は明日なきトーナメントの戦いであり、いつかは敗戦が待っている過酷かつシビアな戦いであります。そ

れを考えると、勝つことも大切であるが、『いかに負けるか』を突き詰めるのが高校野球の本體であるような気がしてなりません。その点、選手達は持てる力を十二分に発揮し、再三訪れるピンチを投手を中心とした全員で切り

抜け、気力も充実し、肉体と精神の均衡が作り出す野球の美しさが球場全体に充滿し、彼らの姿は大へん頼もしく、剛直に映つた見ごたえのある一戦でした。しかし、良い試合をした時は勝たなければなりません。今後の技術の向上は自己の力を出し切る強靱な精神力の強化が大きな課題として残つた一戦でもありました。特に3年生諸君はこの試合を通じて得るものが大きく、必ずや今後の人生の糧となることを信じて止みません。

最後に、現在36名の部員達が来年の甲子園出場をめざして連日練習に励んでおります。これまで、本校野球部を巣立った約1100名のOB諸先輩の皆様が築かれた本校野球部の伝統を汚す事なく、県内高校野球界のリーダー的存在としての自覚を忘れず、また、諸先輩達が成し得なかつた甲子園出場を近い将来、必ずや実現すべく、今後我々に課せられた最大の目標として邁進することをお誓いしたいと考えます。

DEEDOTQ-MLESCACET
VEDOVI&WILBOACET

根性一途

今年度受賞・活躍された方

春の叙勲を受けて

今井 新次 (昭42 F卒)



4月29日の新聞紙上に春の叙勲受賞者が掲載されました。事前に各新聞社からの訪問を受けましたが、実際に顔写真と喜びの言葉、経歴などが記載され驚きと喜びの複雑な気持ちでした。私の受賞理由は技能検定の向上に貢献したことですが、具体的には現在の会社(東北リズム)に入社以来国家試験の機械検査作業の検定委員として27年間務めたことです。検定委員として約1000名の受験者の作業状況を見てきました。常日頃の能力を十分に発揮できた人、できなかった人様々でした。近年は女性の受験者も多くなり各社技能検定に対する理解と意識が高まってきたように感じます。

これから高校生の皆さんもそれぞれの分野で仕事を行うことになりますが、技能検定には様々な職種がありますので是非チャレンジして下さい。それから私にとって一生の思い出は、皇居に行つて天皇陛下にお会いできたことです。それから受賞は一人だけのものではありません。家族諸先輩方の支えがあつてこそだと思います。『継続は力なり』と思いますので自分を信じて頑張ってください。

県教委文化功労賞受賞

会津美術協会長

渡辺 正夫 (昭27 K卒)



謝辞を述べる渡辺さん

県教委文化功労賞を受け、会津美術協会展覧に就いた渡辺雅旺さん(会津美里町)の受賞・就任祝賀会は、主催者を代表して村

野井幸雄さんがあいさつ、渡部英敏町長、鈴木敏町議長、杉山純一県議長が来賓祝辞を述べた。渡辺さんは「先輩をはじめ同僚や後輩、皆さんが育ててくれた。今後ともご支援よろしくお願ひします」と謝辞を述べた。新国正町教育長の音頭で乾杯、出席者は歓談を通して渡辺さんの活躍をたたえた。

社会教育功労者

文科大臣賞受章

野口英世記念館 館長

八子弥寿男 (昭31 C卒)



文部科学省は二十九日までに本年度の社会教育功労者文科大臣表彰の受賞者を発表した。本県からは県婦人団体連合会事務局長の海野清瀬さん(ハニ)福島市、県子ども会育成会連合会長の斎藤和夫さん(全)いわき市、野口英世記念会

黒谷會津墓地法要

次期京都會津会会長 大竹文夫 (昭31 C卒)

明治38年より続いておられます黒谷會津墓地の法要を、平成19年6月10日(日)第102回法要として晴天のなか滞りなく行われました。会津松平家からは第14代当主松平保久御名代御令室由布子様、親保様のご臨席を仰ぎ、会津若松市長菅家一郎様ご出席の予定でしたが当日斗南會津会会長杉山蕭(現むつ市長)様が急逝され平成19年6月10日の告別式と重なり、姉妹都市である会津若松市長も参列され

ました。お蔭をもちまして60名近い出席者により盛大に法要、直会を行うことが出来ました事、誠に同慶に耐えませぬ。なお、法要時本堂に会津若松市、会津商工会議所及び鳴原の司太夫様より生花のお供えを頂き、また、会津の御老公(黄門)渡部恒三元衆議院副議長様より電報を頂き厚く御礼申し上げます。昨年は会員の皆様より会報制作にあたり原稿及び広告を頂き、重ねて厚く御礼申し上げます。今年は、皆様に広告の負担をお願いせず会員によります手作り作業にて作成いたしました。ご覧頂いて読みにくい面もあると思いますが協力力の程よろしくお願ひ致します。また、法要の時期を6月の第2日曜日(7月)の第2日曜日から7月の第2日曜日にしてはどうか、とのご意見があり、再調整させて頂きたく、ご意見があれば京都會津会の事務局まで封書、葉書等でお願ひ致します。来年(平成20年)もふるってご参加頂きますよう重ねてお願ひ致します。

越後と会津を語る会

事務局 鈴木 利雄 (昭29 K卒)

第21回「越後と会津を語る会」柳津大会開催

・期 日：平成19年10月14日(日)
・会 場：柳津町立柳津中学校体育館
・参加費：1500円(資料・昼食代含む)



福島民友 掲載

卒業生の遺族 贈る

故 高橋大輔 (昭51 A卒)

会津工高に 絵はがき



絵はがきなどの作品を熊田校長に託す高橋さん



故高橋大輔さん

会津若松市の主婦高橋公美さん(五)は二十七日、会津工高の卒業生九年前に肺がんで亡くなった夫の故大輔さんが闘病中に描いた「絵はがき」と「テレホンカード」を同校に贈った。高橋さんは「夫の思いを形にして、皆さんに見てもらいたかった」と話した。大輔さんは同校の卒業生。肺がんを患い七カ月の闘病生活の末、四十一歳の

若さで亡くなった。生前から絵を描くのが趣味で、病床では数々の作品を描き上げた。サクラやウメ、想像上の花など多彩な作品を残した。今回の絵はがきは、闘病中に描いた約七十種類の作品を基に印刷、絵はがき約二百枚とテレホンカード約三十枚を用意した。高橋さんが同校を訪れ、熊田良治校長に作品を手渡し、熊田校長は「作品を通して生徒に生きていくことの大切さを伝えていきたい」と話している。

アマチュア最優秀選手

須佐 勝明 (平15 C卒)



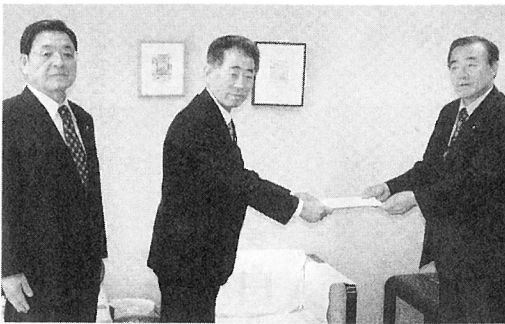
アマチュアボクシング界で期待の須佐勝明

目指すは「北京」

低迷するアマチュアボクシング界で期待されているのが、22歳の須佐勝明(東洋大・会津工高)だ。昨年12月のドーハ・アジア大会のフライ級で銅メダルを獲得し、2006年のボクシング表彰選手のアマチュア部門で最優秀選手に選出された。「北京五輪に出たいので、こしは勝負の年」と意気込んでいる。

自然と命大切にするまちへ

猪苗代町振興計画審議会会長 長谷川与一 (昭40 E卒)



福島民友 掲載

喜寿記念 作品展 「風景・人物・静物」

郡山会工 幹事長 金田 寛 (昭21 M卒)



2007年8月1日から8月6日までの間、「アトリエかしわ」にて油絵「風景・人物・静物」をテーマとした喜寿記念の作品展を展示。盛夏をはじめ、会津の春、冬の磐梯山、バラを見て踊るなど計39点が展示された。

ぜび蒼翔祭に

会津大学園祭実行委員長

高梨 哲也 (平15 J卒)



▼コンピューター理工学部コンピュータフットウェア学

会津大学園祭「蒼翔祭」の実行委員長として活動しています。以前からイベントが好きだったこともあり、昨年までの蒼翔祭を見て運営にかかわりたいと思つて実行委員になりました。来場者も運営側も楽しめるイベントを企画、運営したいと思っています。ぜび、蒼翔祭に来て下さい。

下野街道発刊

会津美里町観光協会副会長 水野 俊彦 (昭39 K卒)



「下野街道」第7号と水野さん

猪苗代の食や歴史満載 美里「下野街道」第7号発刊



【男子100m競泳決勝】55秒78で4位の山口雅文(ハマド大学水泳センター)

山口 雅文 (平15 F卒)

ドーハ・アジア大会 「銅」メダル

かし、消費者と技術者の接点に関する様なところにスポットを当てた指導をしていない。

必要なことはデザインである。デザインは形を創るのではなく、機能を含めたすべてを創ることである。

すなわち考えることである。考えることの指導が蔑ろになっていることは否めない。

元同窓会会長

亡兄佐藤勝次の想い出

会津坂下在住 廣木義衛



兄は太平洋戦争当時、坂下町に家族全員で疎開していたので、終戦後三ヶ年ぐらいいは、故郷広瀬村の小川に、毎日太公望をきめこんで、魚釣りを楽しんでいたのです。村人から「魚つりの勝さん」と噂されていたのです。昭和二十三月頃、休業中の松尾商店再建のため私も同行して上京し、二ヶ年間不眠不休の状況で仕事したものです。その後、商店名を「大松産業株式会社」と改名し今日に至り、子息三人協力経営しております。

又、兄は故郷のために度々協力してくれました。その思い出の一つに、当時私は町教育委員会の職員でしたので、町民体育館が昭和四十一年建設時に関与していましたので、在京の方々に寄附募金をお願いしたこともあり、更に当時町議会議長の五十嵐賢吉さんから、町民体育館の綴帳寄贈をどこに頼んだらよいかと相談されたので、「デルモンテ」（トマトジュースで有名な会社）をお願いしたらどうか、と進言しましたら、宜しい早速上京し相談してくれと命じられたので、上京し兄に相談したら、友人の上野虎男君に電話したから、「松竹歌舞伎株式会社事務」直接に訪問しお願いしなさいと云われました。翌日上野さんから電話あり、午後五時に上野精養軒で夕食の招待あり出席したら「デルモンテ」から寄贈の内諾を得たので帰町し手配しなさいといわれました。在京有志の方々の連けいの強さに感銘を得て帰町したこと、今日で

も忘れられない。
又、兄は長年東京における、工業学校同窓会長をしていたので、昭和五十年頃と思います。が、たまたま校長さんが年始めに来社のおり「体育場建設」を要望しているが、なかなかむづかしい、と話していたがよい方法はないか、と言われたので、私は当時福島県教育委員会委員長の要職にあった、江花静氏と面識があったので紹介するから面談してはどうです、と言ったものです。後年若松に来て梅屋敷旅館に一泊した時、夕食を共にしたおり「体育場が建設されたし、寄附したよ」と嬉しそうに話しをしていました。

記 廣木義衛

（江花静氏は私達と同村広瀬村立川の出身で元国会議員や若松市長をされた方です）
昭和五十六年十一月没 行年七十九才



会工時代と同窓会

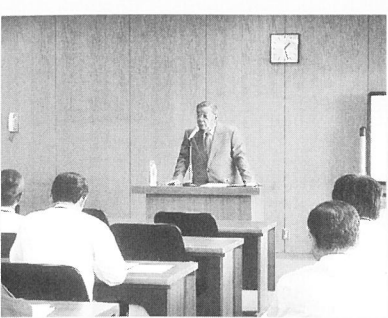
（昭26 E卒） 江川 一正



大東亜戦争が不利になりつつある昭和二十年四月、会津工業学校電気通信科に入学した（当時十二歳）。戦闘帽に、ゲートルを巻き国防色の学生服を着用、坂下より汽車通学でした。西若松で下車、団地で途中諏訪神社に参拝し登校した。

人生に定年はない！

（昭26 T卒） 本間 至



現在満74歳。昭和26年3月、今は既に無い「染色科」を卒業しました。66歳で独立し、現在も講演や研修・訓練（企業経営幹部などを対象の）を行い、東奔西走の日々を過ごしています。

す。昨年10月には、岩手県南地区高校PTA連合会・秋季研修会での基調講演を依頼され出席してきましたが、午前中は会長校の県立泉高等学校での進路講演を、午後からは秋季研修会での基調講演を、更に夜は花泉高校PTA総会での講演と、トリプルヘッダーは、さすがにこたえました。今年も顧問をしています会社の学卒新入社員研修で、3月下旬から4月中旬まで時間をとられましたが、大卒・専門卒・高卒と学歴に関係なく共通して言える事は、みんな普通の子で、そこそこいい子なんです、【耐える・我慢する・頑張る】事に弱い！そんな印象を受けています。：だからちよっと辛い・きつい・厳しいとすぐに辞めてしまふ。別添の「レジュメ」は、屋久島に本校があるKTC中央高等学校（不登校の生徒達を集めて学ばせる）での講演会の「レジュメ」です。

それにしても思い出すのは、平成8年4月19日、母校の門をくぐったのは、45年ぶり。季節外れの大雪に驚きながら全校生徒対象の「進路講演」を行った事です。沢山の後輩たちの感想文の中で、私が最も気に入っている「インテリア科・3年女子」のものでした。

「おじさんの話し、3年間で一番面白かったよ。はっぴい言って面白かった。笑えた。でも敢えて一つだけ言わせて貰えば、笑顔が面接で大切だと言っていたけど、今の世間のオヤジたちは、女性の事を差別していない？私

入学当初は先輩の指導により、きびしくかわかった。校歌応援歌の練習が思い出されます。又、授業の中には配属将校のもと教練があり、自分の背丈より長い木銃にての教練があった。校庭の一部には防空壕が作られた。

たこと、又、寮の食事と違って日本橋の一流店の夕食を幹事長の自腹でごちそうになったのが忘れられません。帰りは十二時を過ぎることもありました。

市役所の屋上より警報のサイレンが鳴ると、学校は放課になり下校した。我々地方のものは汽車の本数もなく、坂下まで友人と歩いて帰った事を思い出します。

その後、地元大先輩方と相談、準備会をし三十六年、両沼西部会工会（坂下町、柳津町、新鶴村）設立後、総会を開催した。

この様な日々が続き、夏休みに入り八月十五日に終戦となった。昭和二十二年四月、学制改革（六・三・三）により新制工業高等学校となり、我々は会津工業高等学校併設中学校電気通信科第三学年に編入し、同三月二十九日卒業。

その後、佐藤勝次様と連絡をとり、ご指導を受けました。いつも巻紙で文毛筆で返事がきまりました。今はこの手紙は私の宝物です。

同四年四月、会津工業高等学校電気科一学年に入學、昭和二十六年三月卒業。三つの校名のもと六年間会工に通学した。併設中三年と高校三年のとき、会工寮を二度経験した。展示品の警備で学校に泊まりました。

昭和二十六年三月卒業（電気科はテレビジョンの放映のはじめての実験もやった）同級生三人と東京品川の電機製造会社に就職。会社の寮に入った。当時はまだ食糧事情も悪く、食事もずく、口に合わず、言葉は標準語が話せず、大苦勞しました。

昭和二十六年三月卒業（電気科はテレビジョンの放映のはじめての実験もやった）同級生三人と東京品川の電機製造会社に就職。会社の寮に入った。当時はまだ食糧事情も悪く、食事もずく、口に合わず、言葉は標準語が話せず、大苦勞しました。

この年に佐藤勝次様と吉田一榮様の会長の交代がありました。

当時の幹事長だった佐藤勝次様が一番早く我々に声をかけられ、出身地等を聞かれ、同じ坂下とのことで懐かしく思いました。若いと云うことで山口君と二人、幹事に選ばれました。次回は日比谷公園内の松本楼で開催、常任幹事に選ばれた。当時は春秋二回の総会があったと記憶している。松本楼も火災にあい上野精養軒で開催、現在に至っているようです。

後日、佐藤勝次様ご夫妻が坂下にお見えになつて役員と会食した。大変よるこんでおられました。

総会準備会は、幹事長、副幹事長、常任幹事十数名の方が勤めを終り、日本橋の幹事長の会社の事務所に集り、会の運営、会員の名簿作成案内状の書きを手伝いました。

今年九月には第二十九回の総会開催の予定です。参加者も少なくなり今後一人でも多く集め

としてはそう思う。でもおじさん最高だぜ。すつこく気に入ったよ。あと為になった。自分の事で言う、私は自分に自信を持ってる。鏡を見てきれいだったって言う位、尊敬できる人もある、家の親父だけ、あの高校出ていない。でも大工をやった、今はパチンコ屋の主任をやっている。胸張って生きている。だから親父としてでなく人間として尊敬している。：やりたい事も何となくある。夢もある。でっかい夢・日本にいたくない。日本で人生終らせたくない・世界で何かをしてみたい：建築の事だったりする訳だけど：沢山・沢山為になりました。ありがたうございました。おじさん、本当に最高だよ！（原文のまま）

窯業会

（昭25 K卒） 渡部 稔

去る3月11日に、旧日立多賀工場窯業科関係者の「窯業会」と云う親睦会（OB会）がありました。

※最近、名称をセラミック会に変えようとか：という案があります。

この時は必ず、現在の「ヒタチセラミック」工場の見学があり、部長課長の現状の説明と、工場内の巡視がなされます。質疑は勿論、我々昔はこうだったとか：今では頭がついて行かないとか：約2時間位です。

その後、懇親会場へ、総会、懇親会へ。「やあやあ：元気がいい！」思いうた話や現況の話で和気あいあいです。その時、点火栓・アルミナ関係の組長が元気な声で来てくれ、「ナベ」さん（私）最近では工業高校はどうした！昔はどこへ行っても（窯業科内）会津工業はいたもんだ！！確かに現在のヒタチセラミック工場には？確かに、どこの部門でも会工OBがおりました。

新田義一さん 会工で多賀工場窯業科開発者

岸 昇三さん 故人 大形碍子鍔込関係

15 K渡部清松さん 故人 避電器関係

17 K長嶺甲子さん 故人 避電器関係

26 K五十嵐兵衛さん 故人 試作
27 K高橋利彦さん 故人 製造
25 K渡部 稔 32 K玉川勝春 33 K出羽重夫
35 K神村 守 40 K星 正次 40 K五十嵐喜好
以上、多賀工場窯業科・ヒタチセラミック関係者名です。
それでは今のHitachi Ceramics工場は、日立化成山崎事業所所属で日立なな市足崎にありまます。
主とした製品は、
1. ハロックス係 HALOXで、アルミナの含有%で番号分別、用途が違っている。
2. 単結晶係 成型方法はラバープレスで、その後加工成形焼成温度も約2000℃とか。炉も、2基入れ20基になるとか。
3. 医療機器部品 ガン発見機器に使用とか。何しろ受注が多くて生産が間にあわない。特殊セラミックなので、日立化成のドル箱とかです。
※今年、19年4月の山崎事業所新入社員は24名で、ヒタチセラミックへは1名機械科でした。下館事業所は27名入りました。
■日立多賀工場窯業科と会津工業窯業科
私は昭和19年4月入学、まさに戦争中。日立多賀窯業科の一部が工場疎開を始め、学校の2つの窯が撤去され、新しく1基が作られました。ここでステアタイト磁器や点火栓等を使う計画があった。この焼成窯は使われたかどうか不明です。
私達は実習のとき徹夜で使ったことがありません。勿論終戦後です。燃料は石炭でした。この話は窯業会のあるとき、会工に来ておられた人に会って話をした事があります。君この事知っていたのかって。あの時は大竹五郎先生に世話になったと、一度会津工業に行ってみたに、その時はお供をしないと話したが実現不能に近い。現在水戸在中、美濃さん（大正8年1月生）と云います。
私が母校を訪問した事は、数多い1人だとお

もっております。

今のハロツクの見本で、トランジスター用、IC用、メタライズ（セラミックと金属封着）用、整流器用、これらは皆アルミナ磁器の見本として持参。先生が欲しかったと：

下館事業所に転動後は、昭和58年8月2日、これは会津碍子（株）工場長中島光夫さん（21C卒）を始め、社長、同窓生のさそいにより、私の夏休みにぜひ、との事で伺いました。その日は中島工場長宅でお世話になりました。帰りに学校の前に偶然橋本先生と目があって、「オッ寄って行け」の声でおじゃまして、ゆつくりとお話をしました。これ以降はごぶさたしております。

■日立多賀工場、窯業科時代はどんなものを作っていたか

・碍子・碍管
大きいもの 直径1m高さ1.5m位のものは多い。強度が必要なのは肉厚50mm、70位。碍子碍管は殆んど日立国分工場納入。発電所・変電所に使用されてます。会津地方にもたくさんの変電所で見られます。又電車・電気機関車のパンタグラフの支持碍子（曲げ強度試験で破壊まで80KV1分間耐電圧試験）用に見られます。

■超大形碍子 直径1.2m高さ4m完成しています。

■避雷器 SiCで成形焼成して作る。

殆んど碍管の中に入り一般には見られない。電柱・電車にもある。

■点火栓碍子 自動車用プラグでアルミナ磁器。昭和34年頃 80万本/月 製作。

※これより現在のアルミナ磁器が作られるようになった。

※アルミナ磁器で玉碍子の役目のものを作った。耐圧縮強さ 100t 1分間

これは海上保安庁納無線塔に使用。立会試験に操作していても怖かった。

※アルミナ磁器製ボール 10φ、20φ、30φ、50φ、70φ 使用方法は主に粘砕用。

※ルミセラムZrO₂ 98% 約20cm10φのパイプ 体育館高速道路等の水銀灯・ナトリウム灯の中に入っており、現物見て下さい。

※散気灯 樹脂とシリカ粒を混ぜてパイプを作る。

る。下水処理施設のエアレーション用。

■圧電素子用プラグ（アルミナ磁器）
これは一般家庭にあるガスレンジ湯沸器等に使われていますヨ！電圧1万2000V位かかります。

■タリシ碍子

※その名の通り当時エポキシ樹脂と珪石粉など混合、加熱して注形して作る。止め金具も1工程で作られる。学校内のキュービクルの中で見られるとおもいます。主に屋内用に使って、現在も使っていると云っております。

■コーテッドサンド

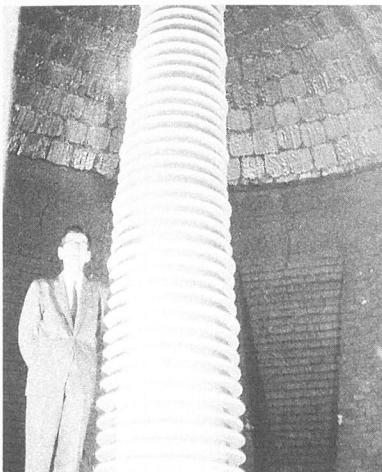
下館に来て知った名前がよく考えると、窯業品なのか？シリカ（珪砂）粉末にフェノール樹脂溶液を作り加熱、セメントミキサーのような容器で混合させる。殆んど自動車部品のエンジンの型を作る砂。砂にフェノール樹脂をコーティングしたものです。

この工場も忙しい。この砂は鋳物をとり出すと廃砂。もって来てロータリーキルンで焼き再加工程返す。

いろいろごちゃごちゃ書き並べました。

私は検査でしたので、上記のものは殆んど手をかけました。窯業科出身で、ある時は電気、ある時は機械屋となり、常に勉強だったと思います。過去におぼえた事、最近のこと、振り返ってみると楽しかったらうと思っております。

窯業科がセラミック科となり新製品が生まれております。



会工は私の全ての原点

（昭33K卒）浅沼 定雄

私は会津高田町尾岐窪の出身で、中学の時、担任の先生より「会津工業高校へは、この中学校から今まで一人しか入学していない」の一言を聞き、私は心に決めた。よし入学の二人目は自分だと、そして会工には「鶴賞」たる物もある事を知った。それまで陸上クラブに熱を入れていた自分が机に向かうようになり、会工窯業科に入学する事が出来て、三本の白線入りの帽子をかぶった時は嬉しかった。

二年生の時、窯業科の各先生・特に担任の鈴木甲意先生のお力添えにより「鶴賞」をいただく事が出来た。

入学してからの三年間は苦しかった。先ず通学に冬の雪道を朝四時半に家を出て歩かなければ会津高田駅の汽車に間に合わないのだ。努力の結果三年間、無遅刻・無欠席であり、数多い思い出の中のひとつとして誇りに思っています。入学と同時に二つのクラブに籍を置いた。陸上と詩吟である。

陸上競技は夏場のスポーツ。それを強化するには冬のトレーニングが必要と思ひスキーのクロスカントリー競技を始めたが、いつしかこちらの方がおもしろくなり、三年生の時、国体出場を果たした。それ以降、愛知県に就職してからスキー競技は続き、若い時は昼は会社で仕事し、夜は夜間大学（名城大機械科）に通学しながら、25年間連続出場し、その後監督等を含め、32回国体に参加し、第55回富山国体にて国民体育功労賞を受賞する事が出来ました。そのレセプション会場にて各県の多数の代表者の中から私が選ばれ、天皇陛下、同妃殿下と約一分間のお話しを賜えられた事は、この上ない喜びであった。

一方、詩吟の方では渡部（康）先生に引率され飯盛山で吟び、そして剣舞したのが縁でした。当時白虎隊に対しては深く感じなかったが、会津を離れて他国で知る白虎隊の人氣はすごく、いつしか自分が人前で素朴な白虎隊の吟と剣舞を披露する事が多くなっていた。

私は思いました、この詩吟の良さを多くの人々に知ってもらいたい。その為にはバカの人々

田子薬師堂、塔寺の立木観音、宇内の薬師如来等校挙にいとまなしである。

それそれに深い歴史と物語があるのが法用寺にも貴重な遺産や本寺がもたらした歴史的に広範な影響力についても理解できるようにになった。

ここで仏都會津（中世）のみを強調すること

が本意ではないので次に移りたい。

最近、会津を理解するための資料として手にしたものに「会津のやきもの」がある。特に会津大戸窯Ⅱ古代会津焼、中世、蒲生時代、近世、近代の会津焼という構成内容の中で注目されるのは、大戸焼をとりまく諸々の影響力の大きさを観るにつけ会津の文化史的な奥深さを思い知らされることであった。

ここでは、会津の「三重塔」や「大戸窯」の周辺事項をとりあげ、外に住んできた一人の「会津」に対する感慨を述べた。

象列車がやってきた

（昭36E卒）星 芳雄

名古屋市内には、東山動物園があります。この動物園には四頭の象がいました。

戦時中、動物園の檻が壊れ、逃げ出した動物が人々に危害を加える、との理由で猛獣の処分命令がおりたそうです。

名古屋市内でも死者一万一千人、負傷者一万五千人という爆撃があるなか、ライオンや虎などは殺されましたが、当時の北王英一園長は

「何とか象を守りたい」と軍部などに日参して延命を嘆願、「勝手にしろ」の一言で象は処分を免がれたものの、食糧事情の悪化で二頭が餓死、残った二頭は北王園長等職員



一つ覚えではないけない、深く詩吟を勉強しよう

と決め、泰州流に入門し基本から学び始めたのですが、内容を知れば知る程難しく、浅学非才な自分にはとても無理と思ひつつも、ここでへこたれては会工の応援歌に申し訳け無いと、ふっと思ふ時があり、頑張り通せるのです。正にあの応援歌が私の人生の応援歌なのです。

お陰様で一昨年はテイチクレコード会社の専属吟詩家となる事が出来ました。そして地区では幾つかの詩吟教室を開き、昨年には大きな詩吟の大会を開催出来た事、これ全て私にとつては会工が原点であり、志を持って努力している事と思っております。



私の人生

（昭36A卒）田中祥一

私の六十数年間の人生は歌の文句ではありませんが、いろいろありました。が、これからは変わる事はないでしょう。三度の職業、会工高建築科を卒業後、会津バスの事務員として約十年。叔父の本屋十七年勤め、昭和六十二年一月に退職。その年の五月、現在の南会津花環センターの設立、と職種の違うさまざまな仕事をして来た。

現在の会社設立にあたっては初めての仕事なので、実施見習いに郡山まで二週間通い続け一応の事は身につけたつもりでしたが、実際になると大変でした。

又、昭和六十一年十月には次男が中体連相撲大会に出場し、首の第二、第三頸椎の損傷という大怪我をして福島日赤病院にて手術を受け、八ヶ月間の入院。昭和六十二年三月には長男の高校入試、その間郡山への実施見習い、と本当

獣医大尉が軍馬の兵糧「ぶすま」を無言で支援し戦争を生き抜き、日本での二頭ののみが生き残ったそうです。

生き残った象の話聞いた東京台東区の子供の代表が昭和24年「象を貸してほしい」と十万人の署名を持って東山動物園に来名したが、象の輸送方法や象が年老いて弱っていることからその願いは実現しませんでした。

この事を知った国鉄が特別象列車を仕立て、全国から延べ三万人の象を見たい、という子供達の夢をかなえてくれたそうです。

名古屋は経済だけでなく、生物を慈しむ心を持った人が多く、この心が二頭の象を生き残らせたかと思う。

戦争はいつも子供や女性など弱い者が犠牲者です。

豊かな、美しい日本は世界の平和が必要。

要努力為平和を願ひつつ…

昭和45年会津工業の電子科を卒業した

（昭45D卒）鈴木 真也

入学してから理数系が苦手な事を自覚するようになった。高校生時代、正直授業が苦痛で仕方なかった。

やがて、学校を辞めたいと本気で考えるようになっていた。

先生の隙を見ては寝ていたような気がする。いま思えば、どうしようもない問題児だったのではなからうか。また、当時世間を騒がせていた左翼にかぶれ、学校の中で学園民主化を叫ぶビラを堂々と校門の前でまいたり、生徒会の民主化、などどわけのわからないことをいって運動をしたり、東京に集団でデモに行ったり、先生も冗談半分に「お前はどんな事があっても卒業させるから心配するな」などといわれたような気がする。それから世の中に出て、いつの間にか包丁を握る世界にいた。

理数系が苦手アナログな性格は年とともに病状が悪くなり、結婚し子供が出来、子供が小学生ぐらいになった時には、子供にビデオの録画を頼むような情けない親父に退化していた。

眺望しているわが会津

（昭29K卒）津田 進



今、私は会津の「外」に住んでいる。会津の地を出てから今日までの歳月は、やがて五十の星霜を数えることになり、われながらその永さに驚かされている。

かえりみると上京しての十年間は関東の地で

昭和61年、日本経済が最高の時期に、念願の日本料理店を若松に開店。しかし、やがてパプルの崩壊と共に業績も右肩下がり、何とかしなければと当時流行り始めたパソコンに興味を持ち始める。

あれは7、8年前になるだろうか。かつてよくキーボードを叩く友人の仕事ぶりを見て、すっかり落ち込んでしまった。明らかにそれが1ヶ月かけているような事務処理を、この人は1日でこなしている。すばらしい！俺にも出来るだろうか。いや俺は永遠にこんな場面がないで終わってしまうのではなからうか。しかも、本能的に今言われている格差社会の片鱗が見えたような気がした。

将来大きな格差が生まれるような気がする。そんな時に俺は負け組なのだろうか。そんな事を思うとなんだか悲しくなった。

当時パソコンを販売していた弟に相談した。「俺もパソコン使ってみようか」と。弟はしばらく考えてからこう答えてきた。「んん無理だと思おう、気持ち分るけどやめた方がいいんじゃない。それから私はしばらくの間に俺の落し込んでしまった。弟に言われた事が頭から離れず、むしやくしゃするの夜中に酒を飲んでいたら、何だか無性に頭にくる。

さてよ、俺は馬鹿にされていたんだ。しかし冷静に考えると、弟の言う事は自分にも覚えがある。「あんちゃん確か会津工業の電子科出たんじゃないか」など皮肉半分に言う。銀行のATMの前に来ると足がすくんだ。

コンビニで満足にコピーが取れなくて店員さんにお世話にばかりになっていた。「あの野郎さ、いまにみてろ…」コンビニに行つてまともにコピーも取れないような俺が、頭に來たつてしようがないじゃないか、と自分を慰めるのだが。でも俺の精神状態は、自分のコントロールでできる範疇を次第に越え始めていた。翌朝、弟に電話をして「現金で買つてもいいかい」などと勇ましい事を言った。それからが大変、俺を指南した人はいくら迷惑をかけたような気がする。覚えなければならぬ携帯をかけた、「わかんない事がわからない」などとわけの分からない事をいつて聞きまくる。

亀が歩くようなパソコン学習が始まった。前しか見えない。ふり向けない。これがよかったのかもしれない。今でもわからないことばかり。しかし「わからなかったことが、わかっただけでも偉い進歩だ」などと、訳のわからないことを行つて前へ進む。

それから数年。気が付いたら人の前で恥も外聞もなくパソコンのことで講演しているではないか。みんなパソコン関係の会社の人と勘違いするらしく、焼鳥屋の親父だ、という「ほんとだよ」って顔してきょとんとしている。パソコンは冷徹で冷たい、と人は言うが、俺はそんなことはないと思えるようになってきた。残念ながらパソコンはその人の能力以上に行動かない。毎晩のように、右肩下りの中小企業の親父が酒飲みながら、お客として私に様々な事を相談していた。いろいろな提案やアドバイスをしたが実行しない。しかしあるとき判つた。俺は今まで余計なお世話をしていたのだ、という事に気づく。答えを用意することが親切だと勘違いしていた。そして、彼はやらないのではなくてやれないのだ、ということに気づく。コンピュータはウソをつかない。あなたは馬鹿なのよ、とはっきりという。「やらないのではない」、「やれないのだ」。

しかし、能力が無い自分と向き合いたくない自分がいる。やれない自分ときちんと向き合えないと、問題が解決しない事を教えてくれた。今、かなり大きな比率でインターネットを経由して予約が来ている。これからは益々そういう傾向になるだろう。

先日、ある市内の会社で講演する機会にめぐまれた。そこで私はこんな話をした。「うさぎと亀さんがかかけつこうか」。

答えは「見ていた場所が異なるという事」。ウサギは後ばかり見ている。亀はスピードこそ遅いけれど前しか見れない。

団塊の世代といわれる私たちも、定年を迎えるものもちろはら。しかし、俺の若いときはこうだった、とはいいたくない。

あと数年で、まもなく60になる。時代は残酷にどんどん変わってゆく。

ボイラーと私

(昭47 T卒) 吉田 裕之

昭和四十七年四月から三十五年間、財団法人竹田総合病院に奉職させていただいております。配置職場は施設課汽缶係(ボイラー)であります。三十五年間である。

しかし、今のボイラーの勤務があるのは偶然ではないのである。ボイラーというものを見たのは、私がまだ五歳の頃である。それは母の実家の本家が、染色織物工業を営んでおり、職業柄、ボイラーは必需品であったのである。実家に行くとき必ずボイラー室に行つて遊んだものであった。繊維産業の衰退と共にやがてボイラーが廃止され、工場も廃業となつていった。

私が会工に入社したのは昭和四十四年である。その頃は繊維産業が斜陽化の時代を迎えていた。久しぶりにボイラーを見たのは、入学して実習になってからである。貫流ボイラーである。その時の実習担当は笠井先生であった。そこで見たボイラーが大きく見え、恐怖さえ感じたことを覚えている。

そんな関係でボイラー免許を取り、竹田病院に入社して、今日に至っている。今では会工生のボイラー免許受験に際し、微力ではあるが講習会をお手伝いさせていた。

そんな関係でボイラー免許を取り、竹田病院に入社して、今日に至っている。今では会工生のボイラー免許受験に際し、微力ではあるが講習会をお手伝いさせていた。



会工とボイラ協会会員

一枚の色紙の言葉

(昭50 K卒) 宮腰 克美

私は今、一般的になじみがない陶器瓦業界にある釉薬に携わっております。その瓦には、歴

絵葉書の思い出

(昭50 C卒) 坂内 美佐子

昨年は映画「バルトの楽園」で、松江兄弟が再注目され、その名に在校時代が懐かしく思い出されました。

また、卒業式の頃には、同級生「高橋大輔」君が新聞に取り上げられました。

彼は、住み込みの新聞奨学生で学費を払い、少ない給料の中から家へ仕送りもし、修学旅行の費用もすべて自分で賄っていました。

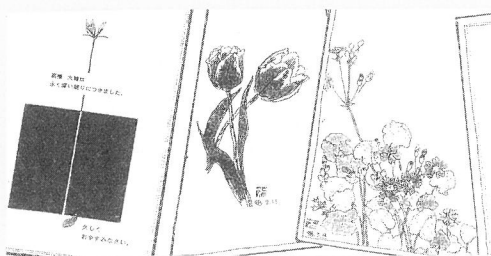
こんな事を言うと、苦学生といった暗い男子を想像されるかもしれませんが、博識で明るく、同年なのに「兄貴」のような面倒見のよい人物でした。

生徒会長だった彼は、他の生徒会役員と共に、図書室に毎日顔を出し、有志図書委員の私たちに、たわいの無いおしゃべりを楽しんでいました。

美術部でもあった彼は、その頃数少ない女生徒や、若手職員へイラストを誕生日にプレゼントもしました。

とても手先が起用で、学生服のボタンや体操着のゼッケンなども自分で付けていました。当時編み物が流行り、放課後に図書司書さんから教わってマフラーや手袋を編んでいた、「ちよつとやらせて」と遊んで、一週間後には、5本指の手袋を見事に完成してしましました。

ちなみに私は未だ片手の途中です。そんな彼が、肺がんに侵され闘病生活を送りながら絵葉書を書き溜め、亡くなった後友人に送りました。



彼の優しい人柄が伝わるイラストがたくさん残されました。中には、病名宣告直後の悲しいイラスト

ト、余命も残り少ないと覚悟して、葬儀用にと書いた作品。娘さんの入学祝いは彼の死後、奥さんが投函し入学式に配達されました。

娘さんの卒業式は酸素マスクに車椅子で出席、亡くなる数日前まで気力だけで作品を書き続けていました。

彼の絵に対する情熱は就職しても冷めず、勉強したいと強く希望していましたが、叶う事はありませんでした。

せめて彼の作品を知っていただきたいと、奥様と共に絵葉書として一枚80円で販売しております。

ご希望の方はご連絡お待ちしております。

悲惨な出来事の影、そして全県一区制の導入に思うこと

(昭52 M卒) 菊地 登貴雄

風薫る五月、会津のある県立高校生が、戦慄する様な事件を起こしたことに對し、驚きと同時に現代社会の影の部分を露呈した悲しい出来事として、悲痛な思いをしております。田舎者の私の嫌な習性ですが、「もしや母校の生徒ではないかと」心配になり、母校に確認の電話をして、何かが切ないものも感じざるを得ませんでした。母校の生徒でなかったから「良かった」、他校のことだったから「どうだった」とか、真相はまた闇の中ですが単純に考えてみても、遠隔地出身のため、大事な家族と離れ離れの生活を強いられることが挙げられます。そもそも教育を受けるためのものですから仕方がないのですが、生活環境の変化で様々な不安を抱えることや、情緒も不安定で何にでも多感な時期に、一番大切な家族と離れ、愛情に飢え自分を思いつめるなどのことを思うと、猟奇的な事件は当然悪いことですが、その背景を切なく空しく感じることです。

そんな重苦しい空気の中、「早ければ平成21年度から県立高校普通科の学区が全県一区」とする方向の報道がなされています。その主な理由は、「全県一区制の導入で、学校を選ぶ生徒たちの選択肢を広げることができる」、「普通高校の

会工に想う事。そして現在。

(平3 D卒) 小澤 哲也



卒業して、既に16年の歳月が経過してしまいました。久しぶりに訪れた会工は、壁の色が変わっていたり、講堂が新築されていたり、科務室の場所が変更になっていたりと、卒業後の時間の経過を感じさせられましたが、玄関の位置等の基本構造は何も変わっていませんでした。あの毎日の通学で、あの玄関のドアを開けて、スチール下駄箱特有のボタンボタンという音を立てて、教室に向かっていた日々をたいへん懐かしく、そして鮮明に思い出します。

小生は現在、宮城高専で教鞭をとっております。大学で教鞭をとってもよかったのですが、小生は高専を選択しました。それは、小生は会工から東北大学大学院まで電気工学を12年間学んできましたが、一番役につけている学習内容は会工で得たことが多いからです。大学や大学院で学んだことは理論的抽象的な内容が多く、自分なりに学習内容を噛み砕いて理解することに成功しない、実践では役に立ちません。電気系の大学院生の中には、コンセントの電圧値を説明できない学生もいます。それは、電圧を全てアルファベットという単なる文字表現で学んできたことの弊害です。ところが会工では、実践に近い内容を踏まえて学習を続けておりましたので、会社員として工場勤務したときは、たいへん役に立ちました。小生は変圧器の開発に携わっておりましたが、会工時代に何気なく取得した電気工事士免状のおかげで配線工事に従事でき、また乙種第4類危険物取扱者免状があったおかげで変圧器に注入する油の取扱者となれたため、同時期に入社した同僚よりも確実に一歩リードすることになったのは、会工を卒業したからこそ成果でした。そのようなわけで、実践教育に近い教育に携わりたいと願ひ、宮城高専に奉職することになりました。小生は、誘導電動機の指導方法や電気工事士合格方法等の電気機器中心の講義を担当しており、時折、会工で学んだ日々を懐かしく思い出します。

宮城高専は5年間一貫制の高等教育機関であり、卒業後には短大卒同様の準学士号の学位を得られます。宮城高専では更にプラス2年間の専攻科課程を設置しており、専攻科卒業を考慮すると、大学卒業と同じ学士号の学位を得られますが、教育内容は実践を中心としています。会工卒業後に、宮城高専の4年生として編入学制度がありますので、今後の進路の選択肢として念頭にに入れていただければと思います。

母校だより

工業人の育成について



教頭 若菜 靖彦

本校に今春から2度目の勤務することになりました。長い時を経て、20年ぶりです。その当時と比べて校舎の多くは新しく生まれ変わりました。

しかし、工業高校として県内で屈指の伝統校である本校には、昔と変わらず普遍的なものがあると思います。つまりそれは、「どの教室にも黒板上の額に納まった『教育目標』であったり、『明治みそなな』と生徒が謳う校歌であります。今、再びこの建学の意味を知るとき、深い感動と同時に

わたしの中の会工同窓生

教頭 五十嵐 研



4月に会津工業高校に着任し新しい勤務が始まりました。本校の勤務をとても喜んだのは、義父である。父は本校「機械科」一期生として、息子が赴任したことを、笑顔をこめて迎えてくれた。父は長い教鞭生活を経て退職後、郷土の文化財保護や書道で活躍している。会工同窓生として本校を見守っている一人である。戦前戦後を通して会津の姿を熟知した人間として敬愛している。

赴任早々、学校は入学式などで始まる。その中で生徒全員が歌う校歌・応援歌が新任者を迎える。その中でわたしの頭の中が、「アッ」と痺れた。それは「頑張れ応援歌」であった。子供心に高校野球大会でよく聞いていたことを思い出した。当時わたしは第一球場（現県立博物館）そばに住んでいたため工業生の活躍を感じていたためだと思う。また、この応援歌がある同窓生を思い浮かべさせるのである。会津若松市職員として活躍され、市の発展に努力された星野政三氏（建築科卒）である。氏は市の広域行政の重鎮として各市に任せ、多くの業績を残された。在任中は「会津風雅堂」建設のため日本各地のホールを視察し、完成のため苦心されたことが印象深く残っている。市を退官後、体

に生徒と係わる我々教師の責務の重さを強く感じております。

さて、本校を卒業された同窓生は現在2万4千人を超え、全国各地で活躍されております。今春卒業した本校生徒の進路先は、大学等への進学と就職がちょうど半数ずつになっております。同窓生の先輩方のお力添えもあり就職を希望する生徒は全員内定することができました。

現在の日本経済は企業的好調が続いてはいても、労働者である一般庶民の所得には反映されていない状況にあります。90年のバブル崩壊後、若者の雇用形態が変化し、企業ではより安い労働力を求めるようになり、いくら働いても生活が貧しい「ワーキングプア」なる人種を生み出し社会問題化しています。

また、最近の若者は辛抱が足りず、せっかく仕事に就いてもすぐに辞めてしまう傾向が強いと言われていますが、県内の工業高校卒業生の離職率を調査した結果、定着する割合が他の学科より一番多いというデータでした。

本校での教育で、工業に関するより深い見識と実践力、勤労観・職業観を持つ有益な人材の育成を図るため、地域やPTAはもとより同窓会の皆様方の変わぬご支援をよろしくお願いいたします。

教務部から

主任 大久保 甚一



同窓会の皆様には日頃からご支援をいただき誠にありがとうございます。

昨年度、同窓会の活動を拝見させていただきました。大変活潑なことに驚いております。さすがに100年を超える伝統校であると感心しております。そこで、その原動力はどこから出てくるのかいろいろと考えてみたのですが、実に何の事もなく「高校3年間にやるべき事を一生懸命行った」からではないでしょうか。しっかりと3年間を過ごしたからこそ、年月を経ながら、母校への愛着が生まれ、後輩のために出来ることをやってやろうと思う時が来るからなのではないでしょうか。

さて、在校生の諸君をみてみるといかがなものでしょうか、部活動や、検定試験や資格の取得にがんばっている生徒も多くありますが、結果は求めたい、しかし苦勞はしたくない、という生徒が多くなっているのではないかと感じています。高校生として3年間にやるべき事、取り組むべき事は数多くあると思います。決して楽をしように思うのではなく苦しいこと、人がやりたくないことを一つでも多く経験することが将来必ず役に立つと思います。生徒諸君が会津

The Present Condition

工業高校を卒業したときに、高校時代に学んだ経験が社会に出てから役立ったと感じてもらえるように指導していきたいと考えております。また、将来、同窓会員として母校のために活動してくれる生徒が一人でも多く育ってくればと思っています。

教務部としても、昨年度から取り組んでいるシラバスを改善したり、漢字テストや学力テストなどを通して、生徒諸君の学ぶ意欲を育てていきたいと思っております。これからも、生徒の活動のためにご協力をお願いいたします。

進路指導部から

山野 敏

平成19年3月現在で2万0742人の卒業生を輩出した。卒業生の多くは、産業界で活躍し、産業界での一大勢力となっている。

さて、企業からの求人の歴史は、平成3年度に2580社（県内353・県外2227社）をピークに、バブル崩壊後求人が激減し、平成15年度は362社（県内93社・県外269社）で、就職の水河期を向かえた。就職の割合は、約38%だった。就職したくとも、就職先がなく泣く泣く進学（専門学校）に変更した生徒も多くいたと思う。その年を境に、徐々に求人数も回復し平成18年度は、966社（県内191社・県外775社）と、水河期の役2.7倍増えている。就職希望者にとって恵まれた環境である。しかし、



平成19年度進路指導部職員

- ① 少子化によるクラス減
 - ② 進学者の増加
- 等で、就職を希望する生徒数の割合は約50%である。ものづくり人を育成している工業高校に

本校OBの方々は「ものづくり」フィールドで活躍し企業に「工業高校」の素晴らしさを実証されている。そのお蔭で「会工ブランド」が定着した。OBが企業と本校教職員との使命であると感じている。その中で、平成17年度文部科学省「スーパー専門校」として指定を受けた。さらに本年度は、経済産業省と文部科学省とが連携した「工業高校実践教育導入事業」に採択された。産業界と教育界と行政とが連携し、会津地区に確固たる技術を持った「ものづくり」人を輩出し、会津地区の企業も活性化することを目的として

生徒指導部から

小田 切史也

同窓会の方々におかれましては、各方面でご健勝にてご活躍のことと存じます。また、本校発展の為に日頃より温かい支援をいただき誠にありがとうございます。

さて、本校の生徒は以前と同様文武両道に励み、特に運動面においては、各種大会で大活躍をするなど、会津の雄と目されています。しかしながら最近では、生徒が多様化し、また、インターネットや携帯電話などでの情報の氾濫もあり、生徒指導においても一筋縄ではないことが多々あります。

特に、一部の生徒の服装・頭髪に関しましては、各方面から苦言をいただいたしており、梅津同窓会長からもある機会に、「本校の生徒の制服の着こなし方が…」と投げかけられました。また、PTAの役員の方々もこのことに関して憂慮しておられました。何か良い手立てはないかと思っていたところ、PTAの役員の方々の提案により、PTA総会時に、『我が子の服装や頭髪注意を』約束事の遵守できる我が子に』育てることを確認します。』と決議されました。この

2006会工祭を終えて

総務部 高橋 徳朗

今年度3年に一度実施する恒例の学校祭が『2006会工祭』として開催された。「会工祭」は、学校・生徒会はもちろんPTA・同窓会まで巻き込んだ大イベントの実施であり、それゆえ地域の人々も大きな期待と楽しみを持っていろいろな、大で貴重な会行事務でもある。

さて、今回の会工祭は、6学科による実習を中心とした展示発表と各HRや部、バザーなどのPTAや同窓会作品展など、催し物が90を数え、それぞれに工夫を凝らし好評をくくした。来場者（入場者）も三千人（二日間）を超える人々を迎えることができ、大成功であった。

その中で、いくつかの場面を振

り返ると、ある科の実習作業を見学していた父母が、「こんな難しい作業を平然とこなせるまで勉強していたなんて信じられない」と、感動していたこと。また、焼き鳥の模擬店に並んでいた女性が、「時間がかかって丁寧に焼いてくれるので、安心して子供に食べさせられる」と、感謝していたこと。幼児連れの親が、「どの会場に行っても、こどもを楽しく遊ばせてくれるので助かった」などいろいろありました。一人ひとりが「会工祭」に積極的に参加し、それぞれ役割を十二分に果たしていたことにに対し、周囲からの高い評価を得たものと考えられる。

しかし、一部には、「イベントとしても高校生の服装ではない」とか、「通路で一般客を無視した乱暴な言葉使いをしていた」とか、批判がなかった訳ではない。

学校祭は一年から三学年までの交流を図る機会であり、また、学校以外の人々を向かえて、より深く学校の特色や勉強成果を見ていただく機会でもある。一部生徒の心無い言動が、生徒間の交流や学校全体の評価に大きな影響を与えかねない。積極的に取り組んだすばらしい「会工祭」であったが、行過ぎた行為により水をさすようなことは慎むべきことであろう。

今年の「会工祭」もまた、1つの大きな成果として「会工史」のページに書き加えられた。次回には一般客として是非来校して後輩達の「会工祭」を楽しんでもらいたいものです。

母校だより

応援歌練習

1学年主任 鈴木美枝子

今年度も男子234名、女子46名、計280名の新入生が、文武両道を目標に掲げ、本校での高校生活のスタートをきりました。毎年このことから、年度始めには、連日たくさん行事が組み込まれましたが、中でも放課後の応援歌練習は生徒たちにとって特に印象深い行事であったと思われま

す。同窓会からいただいたCDを聴いて努力はしてみるものの、歌詞が難しく、覚えきるまでには苦労したようです。が、一週間の応援歌練習を経て、完全に覚えきり、最終日には窓ガラスが割れんばかりの歌声が体育館に響き渡りました。

その後の学年集会では、校長先生より、校歌・応援歌についての講話をいただき「全国各地の同窓会に出席した折には必ず校歌を歌う。たとえ、どんなに歳を重ねても、70歳になっても80歳になっても、校歌は忘れない。」とのお話がありました。

本校の同窓生の方々は、様々な数多くの企業において大変活躍されています。やがて、この生徒たちが就職し、先輩方とともに、世代を超えて、校歌・応援歌を歌うこともあろうかと、数年後に思いを馳せながら、誇りを持ち胸を張って校歌を歌えるよう、生徒たち

二年生は多忙

2学年主任 仲川 康紀

この4月から281名全員が1人も欠けることなく二年生に進級しました。

二年生としてやらなければならないことはたくさんあります。第一に勉強です。就職や進学の際、外に出ていくのは評定平均です。その評定平均を上げるべく普段の授業を大切にしたいと思っています。

第二には部活動です。各部の中心選手として、また、部のまとめ

会工の伝統を創ろう

3学年主任 清水 裕二

会工は、部活動において、会津の伝統校・強豪校として君臨しています。新体操やボクシング、スキー、水泳などの全国大会常連の部を筆頭に、陸上、空手、弓道などでも東北大会に進出しています。他のほとんどの部活動においても地区大会優勝、県大会上位入賞という立派な成績を残しています。

この結果は生徒達の日々の肉体的鍛錬や技術の習得、チームワークの醸成の結果であり、先生方の熱い指導の賜物であります。また、目に見えない会工という伝統の力によって、ここでも大きな力になっています。

進路においても、この会工の伝統が生かされます。同窓生が社会において連綿と築き上げてきた社

新採用

機械科 小菅 勇

今年4月に新採用として会津工業高等学校に赴任いたしました小菅勇と申します。どうぞよろしくお願ひします。

4月2日に会津工業高校に赴任しましたが、赴任当日に、まず感じたことが生徒のあいさつがすばらしいということです。生徒は私が新しい先生という感じがまだわからないはずですが、廊下等で会うときつかりとあいさつをしてきてくれました。いままでは、講師として何校か経験してきま

国語科 渡部麻笑子

この度、会津工業高校に新採用として着任いたしました渡部麻笑子です。生まれは浜通りの浪江町です。歴史と伝統ある会津に住むことができるようになったことを嬉しく思っています。

会工生の印象は、礼儀正しく元気な生徒が多いということです。また、心のあたたい生徒も多く、そのおかげで次第に学校にも慣れてきました。これから、どんなことからでも学ぼうとする貪欲さを持って頑張っていこうと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

保健体育 鈴木 慎也

今年四月より、新採用教員として、会津工業高校に赴任いたしました鈴木慎也と申します。保健体育を担当します。

会津で生活するのは初めてで、冬にだけ雪が降るのか、今から不安ですが、会津のいろいろな文化や歴史、自然に触れながら、会津を満喫したいと思っています。部活動はバスケットボール部を

The Present Condition

機械科 実習助手 村上 輝

担当しますが、もう一年近く県大会に出場していないようなので、まずは県大会出場を目指し、ゆくゆくは、会津のトップに立ち、県大会で上位に食い込めるような部活にしていきたいと思っています。

それと同時に、生徒達を良き社会の形成者として育てられるよう、全力で努力していきたいと思いま

今年度、実習助手の新採用ということで、会津工業高等学校に赴任して参りました村上輝（あきら）と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

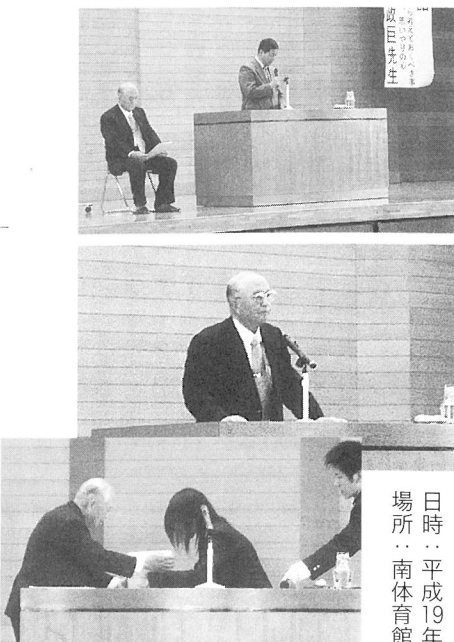
昨年までは、いわき市の民間の企業に席を置きながら、母校の部

活動の外部コーチとして、様々な高校生に触れ合ってきたが、いわきから本校へ来て、まず驚いたのが「挨拶」でした。会津へ来て初めての「挨拶」が、生徒からの「おはようございます」の一声でした。あの気持ち良さを忘れず、常に生徒と向き合っており、より一層自分自身も成長していきたくと考えておりますので、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

創立記念講話

将来生きる道

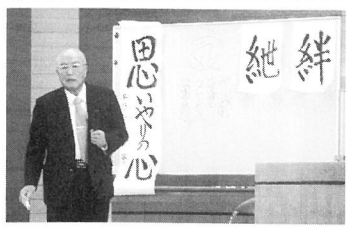
会津天寶醸造株式会社社長 満田政巨（昭22年応用化学科卒業）



日時：平成19年4月13日（金）場所：南体育館

創立記念で満田さん講演

会津工業高等学校 会津若松市の会津工業高等学校創立記念講話は十



三日、同校で開かれた。写真。

十五日の創立を記念して毎年開催している。同校OBの満田政巨会津天寶醸造会長が「将来生きる道」と題して講演した。

満田会長は人生で一番大切なものは家族と語った上で「人間は一人では生きていけない。家族との絆を強く生きてほしい」と生徒に呼び掛けた。

～今から考えておくべきこと～
～食育・思いやりの心～

講師略歴 昭和5年 会津若松市に生まれる
昭和26年3月 福島大学経済学部卒業
昭和50年4月 会津天寶醸造（株）代表取締役 現在に至る
昭和58年4月 （株）テレビユー福島取締役 現在に至る
平成6年4月 全国味噌工業共同組合副会長

【歴代生徒会会長一覧】

	前期	後期
昭和22	星 善伍（5 T）	
昭和23	五十嵐 栄（3 T）	
昭和24	佐藤善右衛門（3 C）	大腰 久善（3 C）
昭和25	真田 賢祐（3 E）	小林 保（3 M）
昭和26	吉川 幸作（2 C）	鈴木 利国（3 K）
昭和27	馬場 稔雄（3 E）	菊地 一夫（3 E）
昭和28	伊藤 一成（3 C）	渡部 晃（3 C）
昭和29	関沢 秋雄（3 C）	目黒 和利（3 E）
昭和30	土屋 寛（3 E）	伊藤 満（3 C）
昭和31	山岸 忠雄（3 E）	小椋 義昭（3 E）
昭和32	五十嵐清夫（3 K）	江川 誠二（2 M）
昭和33	渡部 昭壽（3 E）	江川 誠二（3 M）
昭和34	浅沼 信男（3 K）	穴沢 一夫（3 K）
昭和35	渡部 照夫（3 M）	横井 徳司（3 A）
昭和36	渡部 力（3 M）	菅 伝夫（3 L）
昭和37	若狭 春生（3 K）	鈴木 博巳（3 E）
昭和38	三瓶 紀行（3 A）	古見 四友（3 M）
昭和39	舟本富二男（3 M）	長谷川与一（3 E）
昭和40	五十嵐 勇（2 M）	関野 一由（3 G）
昭和41	大越 憲一（2 M）	山浦 登（3 A）
昭和42	高橋 富男（2 A）	小林 祐助（3 E）
昭和43	秦 市雄（3 E）	阿部 雄二（3 A）
昭和44	後藤 洋二（2 E）	伊藤 常修（3 F）
昭和45	高橋 邦雄（3 A）	高橋 邦雄（3 A）
昭和46	萱森 政美（2 A）	石原 守（3 M）
昭和47	渡部 義徳（2 M）	斎藤 俊六（3 C）
昭和48	小松 晃（2 A）	星 格一（3 M）
昭和49	高橋 大輔（2 A）	野中 寿勝（3 E）
昭和50	山内 真一（3 G）	本田 裕（3 E）
昭和51	荒井 正人（3 A）	佐藤 文敏（2 E）
昭和52	伊藤富士弘（3 D）	大山 秀治（3 L）
昭和53	鈴木 康文（3 D）	梶 兼次（3 C）
昭和54	大浜 達明（3 K）	大浜 達明（3 K）
昭和55	佐藤 満（3 A）	佐藤 満（3 A）

学び舎 ロケーション① 専門課程は、いま。

K 建築インテリア科

池上 邦彦



建築インテリア科もスタートから4年目に入りました。これまでの3年間で建築科、インテリア科からの移行の期間であったとしますと、今年度からは新しい伝統を築き上げる時期になったと考えられます。そのような時期なのですが、年度末の人事異動で前主任の二瓶賢一先生が教頭として埼玉工業高校に、渡部鉄仁先生が喜多方工業高校に転出、また渡部学先生が新採用教諭として福島工業高校へ異動となりました。代わりに常勤講師として建築科OBの星義一先生、福島工業高校から伊能亮太先生、郡山北工業高校から池上が転入いたしました。建築インテリア科を立ち上げる時期におられた先生方が異動してしまつたのは痛手ですが、先生方が残されたものを引き継ぎ、発展させていきたいと考えています。

さて、今年度の建築インテリア科の重点的な指導目標ですが、安全教育に力を入れていきたいと考えています。生徒たちの主な進路先となる建設業、製造業では、労働災害防止に力を入れていくことはみなさんよくご存じのことだと思います。そこで、高校時代から安全に対する意識を高めたいかと思つていいます。そこでまず、きちんとした服装の徹底を図ります。実習中のきちんとした服装や態度は自分を事故から守るだけでなく、他人を事故に巻き込まないためにも必要であることを繰り返し指導していかたいと考えています。また、他校での事故の経験から、生徒たちが作業内容や機械の操作をどれだけ理解しているかをしっかりと確認して実習を進めていきたいと思います。

授業の内容ですが、会津という地域にある工業高校として、地域に密着し、また地域に発信していきける授業を工夫していくことが必要だと考えています。

F セラミック科

佐藤 正道

今年度もセラミック科生徒は、「ものづくり・部活動・資格取得」に一所懸命取り組んでおります。福島県総合美術展覧会では、佐藤千明さん(3年)が美術工芸の部(陶芸)にて青少年美術奨励賞(教育長賞)を受賞し、他2名も入選いたしました。また部活動では、ボクシング部フエザー級の山谷拓君が福島県高等学校ボクシング選手権大会で見事優勝し、来年度には日本一の座に就くものと期待されております。

難関資格に挑戦する生徒やジュニアマイスター顕彰受賞を



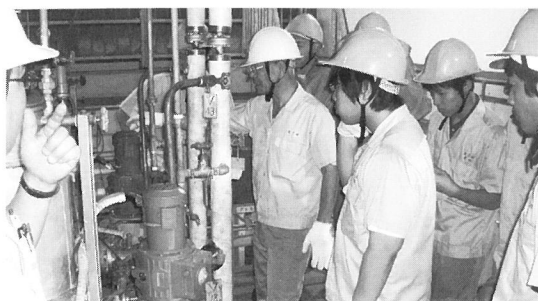
目指す生徒が顕著に増えてきております。今年度はエックス線作業主任者試験などに生徒と教師が受検する予定です。地域密着・地域貢献する学科づくりを推進しております。「親子陶芸教室」、「ふれあい茶会」、「街中アート」などを開催することにより、地域の方々と交流を深め、街中の賑わい創出にも寄与しております。また、最近では県・町・地域団体からの協力依頼数も多くなってきております。

伝統技能の学習奨励並びにその継承と普及を目的として「ろくろ技能検定」を創設し、昨年度より実施しております。学科試験と実技試験ともに70点以上を取得した場合に合格となります。会津本郷焼事業協同組合理事長の宗像亮一先生に実技審査委員長を務めていただきました。昨年度は受検者11名全員合格いたしました。

C 化学工学科

石崎 晃

昨年度、外部講師として佐藤健二教授(いわき明星大)と石田功氏(会津鉄道総務部)



た。産地の後継者育成や活性化に繋げていきたいと考えております。

国宝級天目釉の研究(スベシャリスト育成事業の研究テーマの1つ)では、新発想の下、仮説を立てて実験を行ったところ、曜変天目釉特有の斑点と虹彩を再現することができました。現在は、再現性を高める実験や新規釉開発などを行っております。なお、今年度が完成年度となっております。スベシャリスト生徒研究発表会を開催する予定です。

会津ものづくり人材育成事業が今年度よりスタートいたします。指定期間は今年度より平成21年度までの3年間となります。セラミック科では、ファインセラミックス製造技術の研究を通して、地域社会を担う即戦力・実践力を備えたテクノロジスト(技能技術者)を育成いたします。

本年度の職員動向であるが、加藤芳宏先生のご栄転に伴い郡山北工業高校からセラミック科に所属していた村田光夫先生を迎え化学系工業教育活動に取り組んでいる。新入生は大河原教諭の指導のもと、日夜、資格取得や勉強に励んでいる。

M 機械科

平山 賢実

この春の人事異動により、永年本校の教育発展の為に尽力された鹿目稔先生がご退職なされました。また、今野貢先生が平工業高校へ転勤なされました。

後任として福島工業高校から小菅勇先生、今年度新採用の村上輝先生が機械科の教員に加わりました。また、1年2組の担任として数学科より小沼雄司先生、3年2組の担任として社会科より清水裕二先生、3名の先生方の応援をも含めて総勢16名で頑張っております。

ユニアマイスター顕彰者数
ゴールド:5名
シルバー:3名

○危険物取扱者乙種全取得者:5名

※各種資格取得に対して熱心に取り組んでいる機械科の生徒の姿が思い浮かびます。

機械研習部・課題研究班関係

○ものづくり(旋盤部門)大会予選・福島県大会準優勝

○同東北大会第4位

○全国ロボット競技大会予選福島県大会に4名出場

○ワールド・エコノ・ムーブ秋田大会2時間耐久レース2台出場

○全国電動力カート創作コンテストに3台出場。総合優勝、総合3位。プレゼンテーション賞、技術賞、レース賞、タイムトライアル賞の4部門を独占。

○ホンダエコノパワー燃費競技全国大会に3台出場

○スターリングエンジンテクノラリー全国大会に参加

○マイコンカーラリー県大会に2台参加

いずれの大会においても機械研習部は素晴らしい成績を残しております。

しております。土曜、日曜、夏休みを返上して、毎日夜遅くまで大会で勝つてロボット・勝てる車の製作に当たっている先生方には、只々感心するばかりです。更に素晴らしい成績を得るために努力致しますが、今後とも先輩各位のご協力の程をお願い致します。最後に全ての事に対し懸命に頑張っている機械科職員を紹介致します。

白岩孝一、平山賢実、大久保基一、岩沢誠、丹治一記、小田切史也、数間一博、小菅勇、玉川誠、菅野幸雄、鍋巢幸江、高橋豊、村上輝です。

と製図を担当されていた吉川久雄先生が退職なされ、常勤講師の半澤幸祐先生が喜工高へ、又三年担任で体育の鈴木聖也先生が安積高御館分校へ転勤なされ、その後平工高から渡邊修先生、二本松工高から菊田則雄先生が来られました。なお、渡邊先生は会工電子科OBで、新一年の担任になり同窓会からの期待も大きいようです。菊田先生は主に実習と製図を担当され、他に視聴覚の係にもなりました。さらに二年生の副担任として国語の八巻勤先生が加わりました。

J 情報技術科

上田 郁夫

取得することで、学校の方針のものづくり教育に興味を持ち、本来の工業高校生として3年間工業技術の修得を行ってほしいと思います。

最近、マイクロソフトが組み込み技術分野へ進出するなど、組み込み技術に対する関心が高まっています。情報技術科においてもP・I・CやH8などのマイコンの授業に力を入れています。

P・I・C実習ではLEDのフラッシュポイント灯やセグのカウンタ点灯など、基板の製作からプログラミングまでを学習しています。また、H8実習ではマイコン制御を題材として入出力に関する制御をテーマとして学習しています。

昨年度は本校がコンピュータアイデアコンテストの会場になり、情報技術科ではマイコンカーラリー部門に出場しました。マイコンカーラリーとは、マイコンにH8と決められたモータを使用するタイムレースです。大会は県内十三校から百二十台の参加台数があり、情報技術科でも課題研究や放課後の時間を活用して製作した二・三年生六

この春の人事異動により、永年本校の教育発展の為に尽力された鹿目稔先生がご退職なされました。また、今野貢先生が平工業高校へ転勤なされました。

後任として福島工業高校から小菅勇先生、今年度新採用の村上輝先生が機械科の教員に加わりました。また、1年2組の担任として数学科より小沼雄司先生、3年2組の担任として社会科より清水裕二先生、3名の先生方の応援をも含めて総勢16名で頑張っております。

ところで、平成18年度機械科卒業生79名の進路の結果は以下の通りです。

■就職50名(県内31名、県外16名、公務員2名、自営1名)

■進学者27名(4大1名、専門学校など18名)

■家事手伝い・他2名

となっております。

平成15年度の就職受難の時期と比較すると、平成18年度の求人数は県内企業が約2倍、県外企業では約3倍に増加したこともあって機械科はほぼ希望通りの結果となりました。さて、機械科の生徒の活躍ぶりを報告致します。(平成18年度分)

○全国工業高等学校長協会ジ



E 電気科

梅宮 昭雄

今年度の電気科の職員と生徒の構成ですが、春の職員移動で定年を一年前にして実習

と製図を担当されていた吉川久雄先生が退職なされ、常勤講師の半澤幸祐先生が喜工高へ、又三年担任で体育の鈴木聖也先生が安積高御館分校へ転勤なされ、その後平工高から渡邊修先生、二本松工高から菊田則雄先生が来られました。なお、渡邊先生は会工電子科OBで、新一年の担任になり同窓会からの期待も大きいようです。菊田先生は主に実習と製図を担当され、他に視聴覚の係にもなりました。さらに二年生の副担任として国語の八巻勤先生が加わりました。



奮るえんや会工の健男児

応援歌から

学び舎 ロケーション②

クラブ活動は、いま。

野球部

夏の大会に向けて

顧問 ◎八巻 勤
小田切史也
安齋 悟
大塚 久泰
夏田 郁夫
渡部 孝志



同窓会の皆様、日頃より野球部に温かい声援と多大なるお心遣いを賜り、厚く御礼申し上げます。
私は、四月より指揮を執ることとなりました八巻勤と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。現在、部員は五八名で今後、状況判断に磨きをかけ、夏は、会工らしいバワフルさと機に応じた俊敏さで勝負したいと考えております。
そして、いつ何時も自分の全を出し切る魂のこもった試合を展開していく所存です。

テニス部

顧問 ◎芳賀栄理子
齋藤 修平

テニス部は毎日8キロ弱の道のりを自転車移動し、学校外のテニスコートで活動しています。三年生の引退後は、会津地区新人戦団体の部二連覇、同県大会ではベスト4を目標に練習に励んでいます。「先輩が持ってきたトロフィーは必ず持ち帰りたい。」と



バスケットボール部

古豪復活を目指して

顧問 ◎鈴木 慎也
大塚 正幸
今年度、バスケットボール



ソフトテニス部

顧問 ◎仲川 康紀
玉川 誠

現在3年生8名、2年生13名、1年生12名計33名の男子と1年生4名の女子の合計37名で活動しています。

今年度は、県大会で良い成績が残せるよう今後も努力していきたいと思ひますので、応援よろしく御願ひします。



バレー部

顧問 ◎数間 一博
相良 晴美
高橋 豊
村上 輝

会工バレーボール部は、男子と女子があります。今年、男子は十二名、女子



山岳部

「三年振りの県大会出場！」
今年こそ晴天の山を!!

顧問 ◎中野 善司
遠藤 宏之
鶴巢 幸江
(池上邦彦)

柔道部

顧問 ◎白岩 格
山野辺幸喜
今野 貴行

我々柔道部は顧問の白岩先生、山野辺先生、今野先生の指導のもと、毎日の苦しい練習に励んでいます。今年度は去年のチームが成し得なかった県大会での団体戦ベスト4を目標に掲げ、冬場の体力強化、春の遠征合宿等、鍛練を重ねて来ましたが、結果はどう出るかわかりませんが精一杯頑張りたいと思ひます。
先輩方、応援よろしくお願ひします。



水泳部

会津地区水泳大会優勝
大会新3つの記録

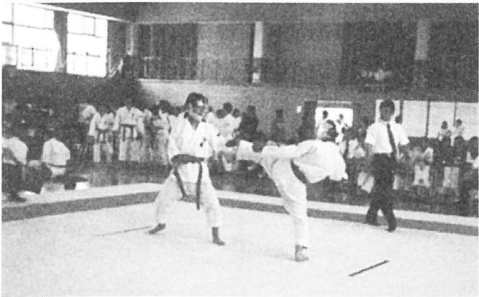
顧問 ◎岩沢 厳
長崎 敏秀
高畑 利夫



今年度、部員14名でスタートし、6月8、9日の2日間、地区大会が行われました。その結果、団体では、数々の力で会津高校に優勝を奪われ、昨年度に続き2位という結果でしたが、個人種目においては男子は16種目中5種目で1位を獲得し、2位4種目、3位1種目というまずまずの結果を出しました。女子は3年セラミック科の高嶋静香さんが、たった一人の参加ではありましたが、50mバタフライで1位、100mバタフライでは3位と、大健闘しました。団体種目においては、男子400mドレーリリー2位、400mリレー2位、800mリレーでは、みごと1位を

空手部

顧問 ◎村田 光夫
清水 裕二



卓球部

顧問 ◎海老沢康弘
服部 良男



卓球部は3年10名、2年5名、1年8名の計23名である。そのうち女子は1名。活動場所本校北体育館であり、平日は夜7時まで、土日は昼過ぎまで3年生を中心に毎日練習に励んでいる。
昨年は会津総体で団体3位、個人ではシングルス、ダブルスとも県大会に出場した。今年度は高総体地区大会で団体出場を惜しくも逃し個人戦のみ県大会出場となった。
今後の生徒達の頑張りに期待したい。

弓道部

顧問 ◎渡邊 修
嶋田 徳栄
菅野 幸雄



現在、弓道部は三年生十一名、二年生十二名、一年生十名で活動しています。本年度、



雪解け直後の吾妻山中・谷地平にはミサシヨウの清楚な白が点々と見られた。三年振りに参加した県高校登山大会は、寒気の中、雨に打たれながら東大巔復の行程が短縮され、ここで兎平のテント場に引き返す事になった。吾妻山中のど真中の静けさを明る光が降り注ぐ中で味わってほしかった。
昨年までの活動が功を奏して本年度は部員が増えたが、そういえば本年度になって、新入生歓迎登山や会津地区大会にしても天候には恵まれなかった。それでも精力的に活動する部員たち……。
部員たちよ、今度こそ山を歩く喜びをかみしめることができる山行になるだろう!!

陸上競技部



■顧問 ◎石崎 晃
鈴木 康生
長谷川 文明

本年度の県高校大会が開成山陸上競技場で行われた。
【結果】走高跳2位渡部新(2M)、棒高跳3位渡部英人(3E)、八種競技4位和田佑貴(2C)、400mR6位(渡部・金田・鈴木・星)大会中、我が陸上競技部デントに駒澤大の大八木監督やファイテン佐藤宏監督らが激励に來られた。一昨年、駒澤大に進学した星創太(A卒)は5000m14分18秒台の力を付けて頑張っているとのこと、持久系に課題が残ることだが今後の活躍にも期待したい。

本年度の新人部員数が芳しくなく少数ではあるが、人間教育の一環として高い目標を持ち頑張っている。

サッカー部

■顧問 ◎鈴木 哲
加藤 義範
前田 茂寛



本校サッカー部は昭和35年に創部されて、今年で47年目を迎えました。今年度の高校大会県大会では、「一回戦」聖光学園1-0(2回戦)磐城3-1と勝ちあがり、ベスト4へ進出しました。そして準決勝では尚志高校(昨年度の選手権出場校)に対して相手の猛攻をなんとか1点に凌ぎ前半0-1とリードされ折り返し半0-1とその後半27分に相手のディフェンスを見事に

スキー部

■顧問 ◎稲生 義則
佐久間 智広
小沼 雄司
小菅 勇
増子 美樹
鶴岡 幸江
体育科教員

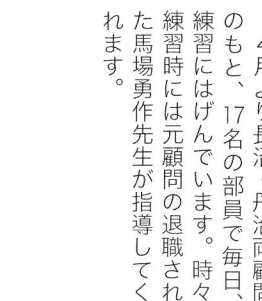


僕達スキー部は冬場の大会期にむけて、日々練習に取り組んでいます。夏場のトレーニングの結果が冬でも大事になってくるので、特に走り込みや筋力トレーニング、口

崩し1点を返し延長戦に突入しました。白熱した好ゲームの中、互いにゴールを目指しましたが、とうとう相手にゴールを奪われ1-2と惜敗し3位となりました。多くの保護者の方や教職員やOBの方にも応援に来ていただき、生徒も思存分、力を発揮できたと思います。冬の選手権大会では初優勝目指して頑張りたいと思います。

剣道部

■顧問 ◎長沼 悟詮
丹治 一記



4月より長沼・丹治両顧問のもと、17名の部員で毎日、練習にはげんでいます。時々練習時には元顧問の退職された馬場勇作先生が指導してくれます。



ーラースキーやローラースキーなど専門的な技術面もきたえる練習も行っています。今シーズンは昨シーズンの活躍以上にインターハイ、国体や他全国大会で良い結果を残すため、頑張っていると思います。

バドミントン部

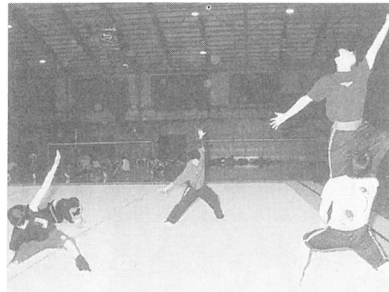
■顧問 ◎今野 信孝
渡部 訓生



会津工業バドミントン部は創部が昭和20年と、伝統ある部活動です。そして戦績においても、県大会では過去数十回と優勝し、東北・全国大会においても上位入賞を果たしたOBの方々がたくさんいると聞いています。現在、総勢22名で活動し、大会成績に関しては偉大な先輩方のまだ足下にも及びませんが、強豪会津工業復活に部員一丸となって練習に励んでいます。

新体操部

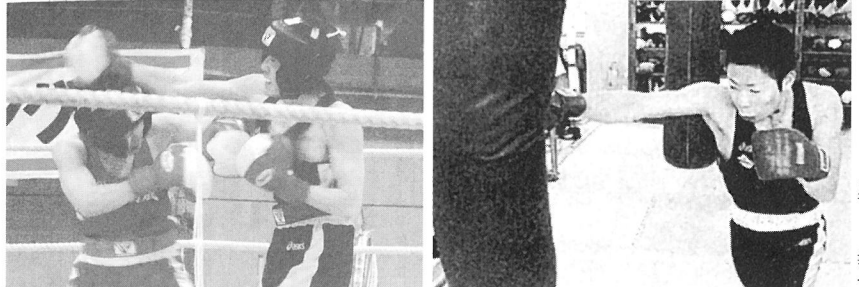
■顧問 ◎熊田 俊介
伊能 亮太
小沼 雄司



することが出来るチームになりつつあります。今後は、顧問、選手、マネージャーが丸となって県内や県外の学校から一目置かれるようなチームになれるようにがんばっていきます。

ボクシング部

■顧問 ◎篠原 宏和
星 義一



吹奏楽部

■顧問 ◎竹中 陸
鈴木 陽子
高橋 裕之
渡部麻笑子



本校吹奏楽部活動につきましては、いつも同窓会の皆様方の暖かいご理解、ご支援ありがとうございます。今年度は竹中睦・渡部麻笑子・鈴木陽子(5月22日より高橋裕之)の3人の顧問と34名の部員で活動を行っております。

美術部

■顧問 ◎丸山みづほ
岩淵 浩之
西村 典子



美術部は、素描・水彩・油絵・工芸などさまざまな分野に挑戦し、毎日頑張っています。年に4回程ある展覧会に向けて、日々制作活動を行っています。昨年は、会津若松警

社会部

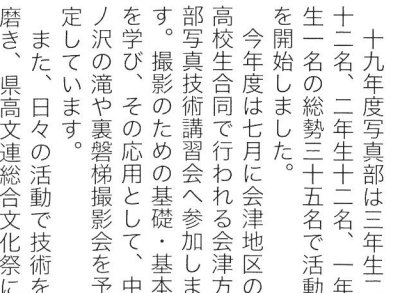
■顧問 ◎高橋 徳朗
前田 宣裕



昨年度末の十九年二月に、弓道部から移ってきた一年生(本年度は二年生)が居ます。ちょうど、「鶴ヶ城の弓矢」による「防衛」について研究をするつもりだったので、樹木の葉が繁らないうちに現地へ赴き、調査を始めました。堀の柱跡の間隔から、射手一人が必要とする横幅が判明しましたので(写真参照)、このデータをもとに大手門前の防衛法について考察を深めようとしています。

写真部

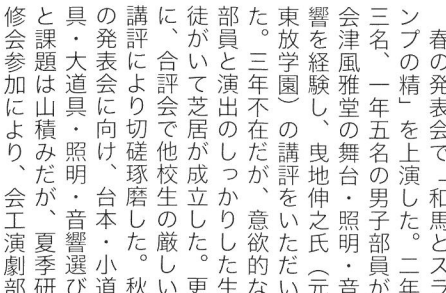
■顧問 ◎田部 栄子
鈴木 智子



十九年度写真部は三年生十二名、二年生十二名、一年生一名の総勢三十五名で活動を開始しました。今年度は七月に会津地区の高校生合同で行われる会津方部写真技術講習会へ参加します。撮影のための基礎・基本を学び、その応用として、中ノ沢の滝や裏磐梯撮影会を予定しています。

演劇部

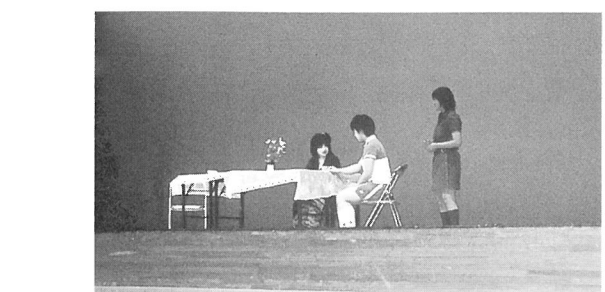
■顧問 ◎西坂美穂子
大河原 茂



春の発表会で、「和馬とスランプの精」を上演した。二年三名、一年五名の男子部員が会津風雅堂の舞台・照明・音響を経験し、曳地伸之氏(元東放学園)の講評をいただいた。三年不在だが、意欲的な部員と演出のしっかりした生徒がいて芝居が成立した。更に、合評会で他校生の厳しい講評により切磋琢磨した。秋の発表会に向け、台本・小道具・大道具・照明・音響選と課題は山積みだが、夏季研修会参加により、会工演劇部



7月 地区の撮影会に参加



の技術向上を図りたい。願わくば女子部員求む。

■本部

顧問	吉田一榮	20	K	会津若松市
会長	山内清司	13	L	会津若松市
副会長	梅津正夫	32	T	会津若松市
	手代木利夫	28	A	会津若松市

[illegible]

佐々木桑子	荒明正義	江花光泰	片平寛	加藤昭雄	石原章男	齋藤四志勇	藤田晴史	近藤信之	長谷川利彦	佐藤幹夫	佐藤義之	石田功	荒川暁士雄	風間眞一	渡部崇	菊地壽雄	菅原正晴	伊藤幸治	菊地登喜雄	佐藤満	小笠源昭	五十嵐昭夫	村山幹夫	石川善一	金田寛	神田信之	長谷川与一	佐野常雄	小島淳一
29	30	31	32	33	34	36	40	40	41	42	43	44	45	45	48	51	52	53	56	58	35	41	39	31	40	43	44	41	41
会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	郡山市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	会津若松市	さいたま市	名古屋市中区	会津若松市	郡山市	福島市	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	西会津町

残暑の季節となりましたが、会員の皆様には、お元気でご活躍のこととお喜び申し上げます。

昨年度におきまして、肺癌建立の会報の協力金に對しまして、多くの會員からご支援をいたいただき、事業を遂行することができました。今後も母校発展のためご支援、ご協力のほどお願いいたします。

ところで会報2007もようやく刊行することができました。今後とも充実した紙面を考えておりますので各支部・會員からのメッセージを事務局へご一報下さい。この紙面でごたくさん紹介できることが会工同窓会の活性化につながると思います。

梨子本傑

(平成19年8月現在)

40